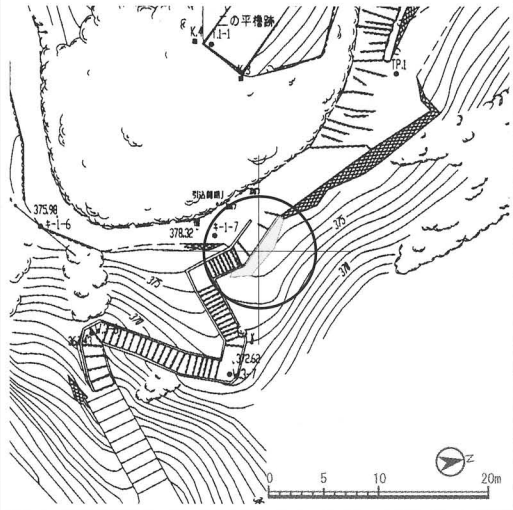
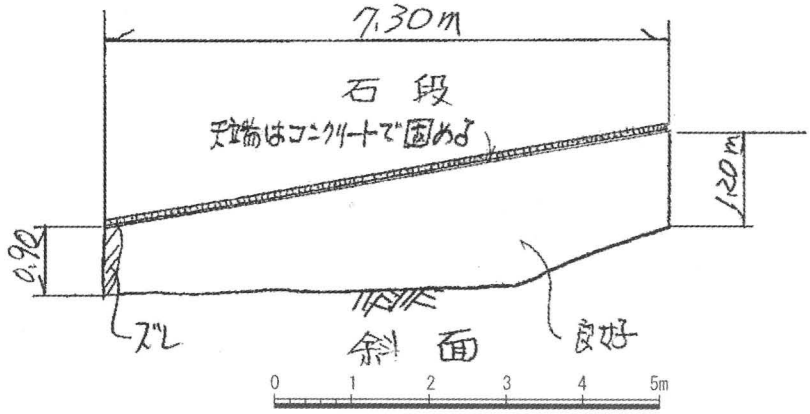
石垣番号	km_213	地区名	小松山城跡	曲輪名	
石垣部位	石段			石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）	
角の形状	右	すり付け			
	左	すり付け(地盤)			
石垣延長	天端 7.30		下端 7.30		
石垣高さ	左 0.90		右 1.20		
	最高 1.63	最高点位置			
石垣勾配	左 0.40		右 0.20		
	最高地点 0.28				
地盤状況	斜面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	良好・ズレ				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	丸みのある方形石材。後世のもの。天端はコンクリートで固めている。				



破損の要因と破損状況	略図
・施工法等構造上の問題などにより、ズレがみられる。	



全景写真1

全景写真2

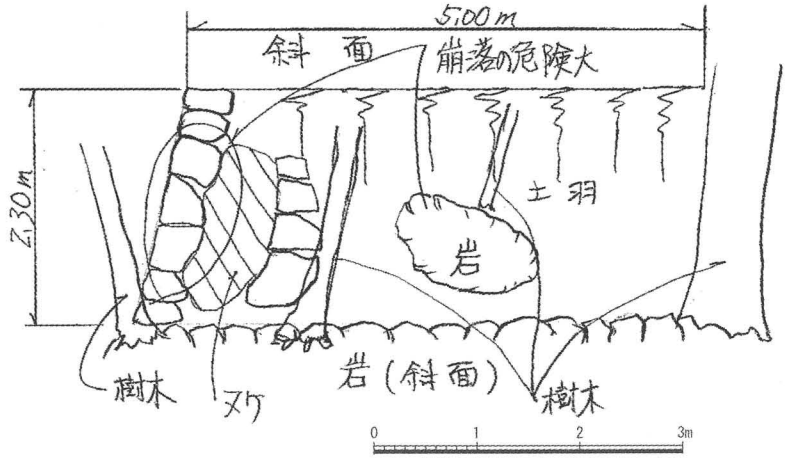
石垣番号	km_214	地区名	小松山城跡	曲輪名	
石垣部位	土留				
角の形状	右	すり付け			
	左	出角			
石垣延長	天端 5.00		下端 5.00		
石垣高さ	左 2.30		右 1.10		
	最高 2.30		最高点位置		
石垣勾配	左 0.30		右 0.10		
	最高地点 0.30				
地盤状況	岩				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	部分崩壊・ヌケ				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	A				
特記事項	隅角の背後の築石が抜け落ち、角石が不安定である。露岩の組込。				

石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）

破損の要因と破損状況

・岩盤と築石面の不整合などにより、ヌケ、部分崩壊がみられる。

略図

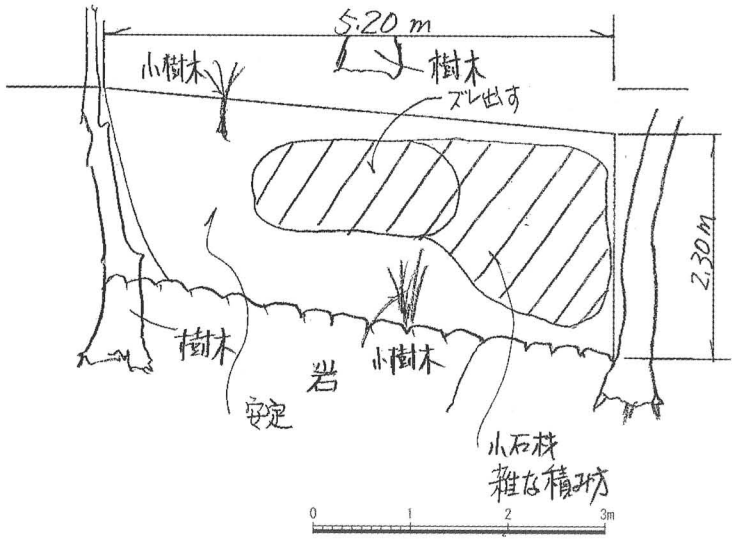


全景写真1

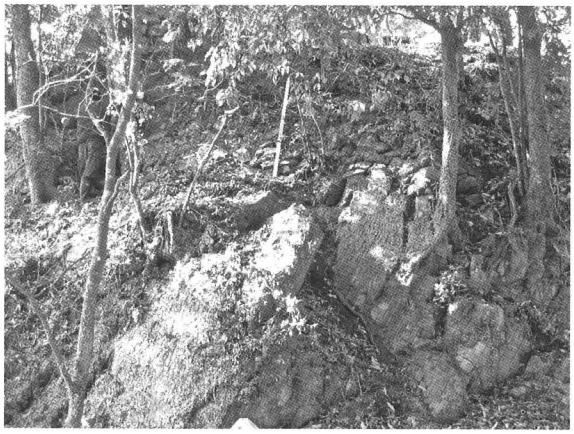
石垣番号	km_215	地区名	小松山城跡	曲輪名	
石垣部位	土留			石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）	
角の形状	右	出角			
	左	すり付け			
石垣延長	天端 5.20		下端 5.20		
石垣高さ	左 0.00		右 2.30		
	最高 2.30	最高点位置			
石垣勾配	左 0.00		右 0.30		
	最高地点 0.30				
地盤状況	岩				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	ズレ				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	B				
特記事項	小石材を使用。露岩上に築造。				

破損の要因と破損状況
・小石材の影響などにより隣接する石垣に、ズレがみられる。

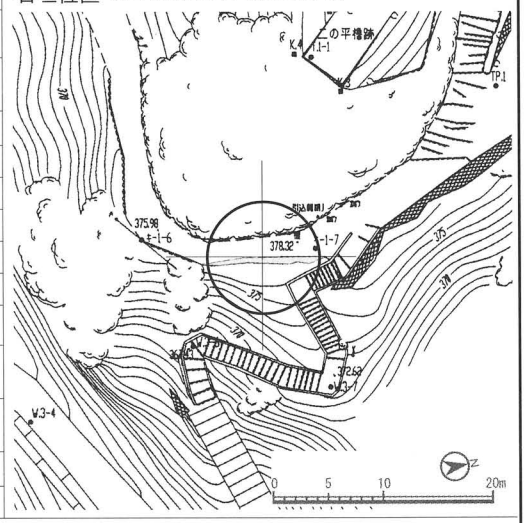
略図



全景写真1



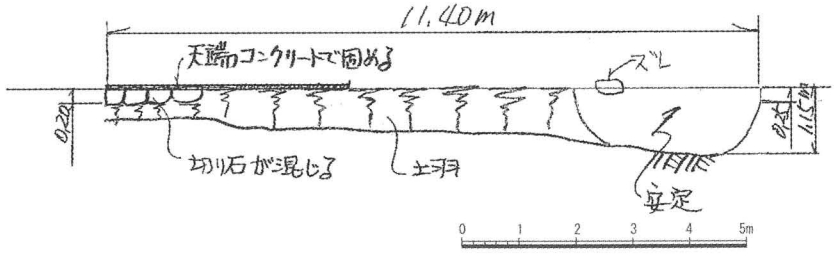
石垣番号	km_216	地区名	小松山城跡	曲輪名	
石垣部位	道路			石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）	
角の形状	右	すり付け			
	左	すり付け			
石垣延長	天端 11.40		下端 11.40		
石垣高さ	左 0.20		右 0.25		
	最高 1.15	最高点位置			
石垣勾配	左 0.00		右 0.00		
	最高地点 0.30				
地盤状況	斜面(石段)				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	ズレ・部分崩壊				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	後世のもの（一部を除いて）。天端はコンクリートで固める。				



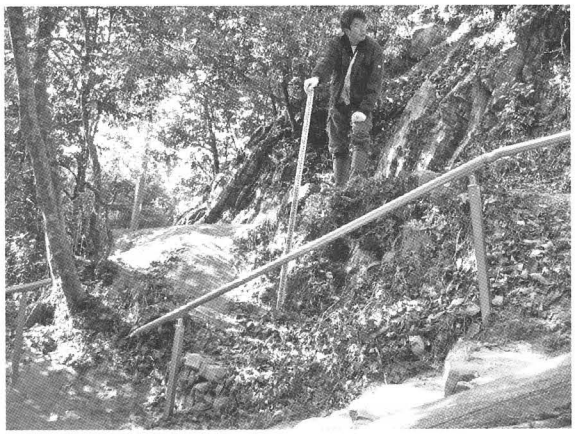
破損の要因と破損状況

・施工法等構造上の問題などにより、ズレ、部分崩壊がみられる。

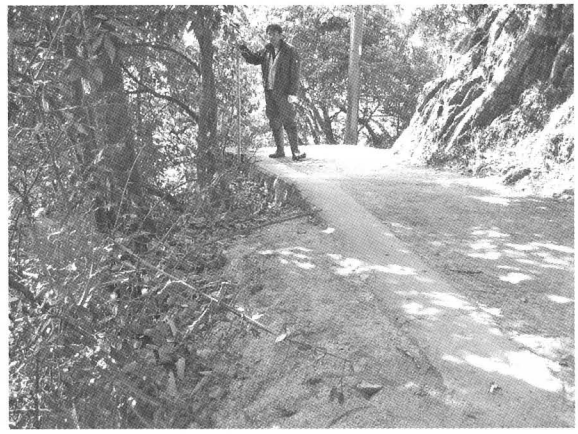
略図



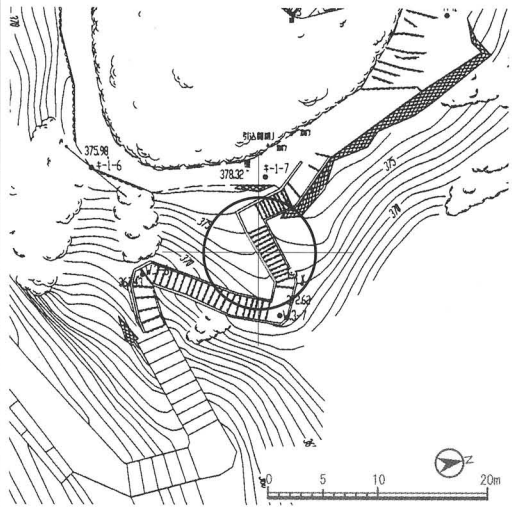
全景写真1



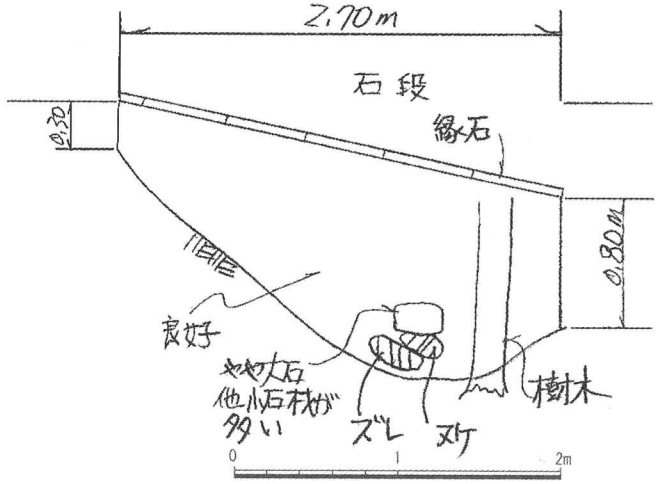
全景写真2



石垣番号	km_217	地区名	小松山城跡	曲輪名	
石垣部位	石段			石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）	
角の形状	右	すり付け			
	左	すり付け			
石垣延長	天端 2.70		下端 2.70		
石垣高さ	左 0.30		右 0.80		
	最高 1.30	最高点位置			
石垣勾配	左 0.00		右 0.15		
	最高地点 0.28				
地盤状況	斜面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	ヌケ・ズレ				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	石段の縁石を積んでいる。				

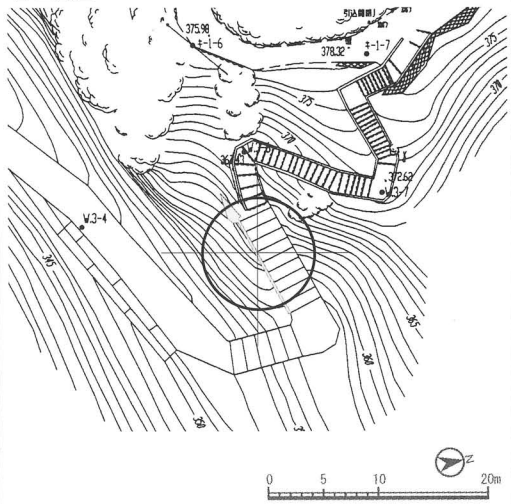


破損の要因と破損状況	略図
・大石の影響などにより、ズレ、ヌケがみられる。	

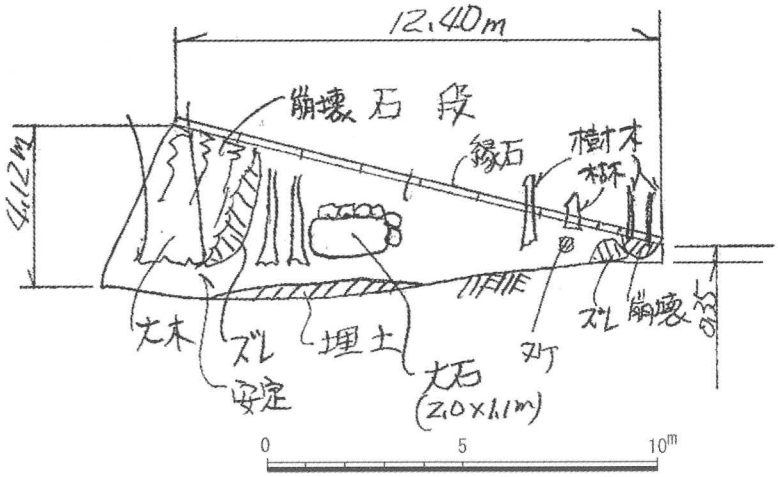


全景写真1

石垣番号	km_218	地区名	小松山城跡	曲輪名	
石垣部位	石段			石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）	
角の形状	右	すり付け			
	左	すり付け			
石垣延長	天端 12.40		下端 14.00		
石垣高さ	左 4.12		右 0.35		
	最高 4.37	最高点位置			
石垣勾配	左 0.25		右 0.00		
	最高地点 0.28				
地盤状況	平坦面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	ヌケ・ズレ・部分崩壊				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	B				
特記事項	笑い積がみられる。両隅角の崩壊が顕著。				



破損の要因と破損状況	略図
・施工法等構造上の問題などにより、ヌケがみられる。 ・石垣面の樹木の影響などにより、ズレ、部分崩壊がみられる。	

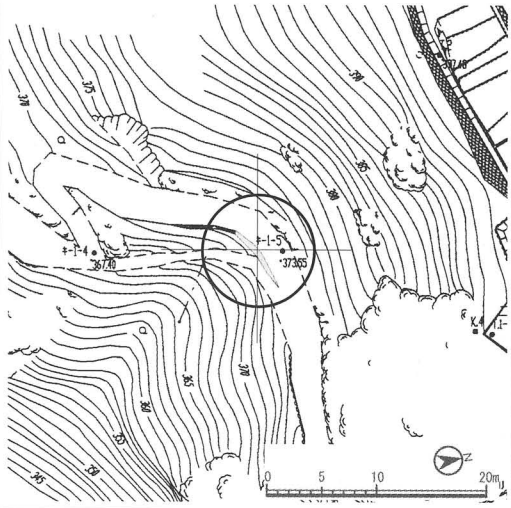


全景写真1

全景写真2

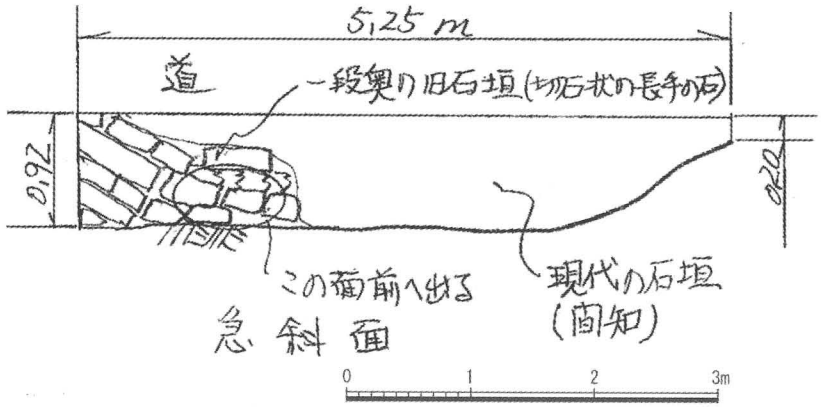
石垣番号	km_219	地区名	小松山城跡	曲輪名	
石垣部位	道路				
角の形状	右	すり付け			
	左	入角			
石垣延長	天端 5.25		下端 5.25		
石垣高さ	左 0.92		右 0.20		
	最高 0.92	最高点位置			
石垣勾配	左 0.45		右 0.00		
	最高地点 0.45				
地盤状況	土・斜面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積・その他(間知積)				
石垣現状	良好				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				

石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）

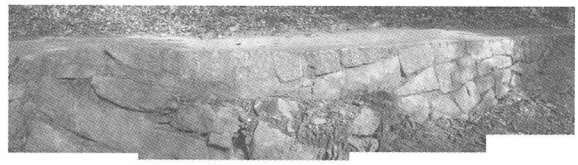


特記事項	天端及び右半は近年の修理（間知積）。左は旧石垣の長手の石を横に用いて積む。安定している。

破損の要因と破損状況	略図

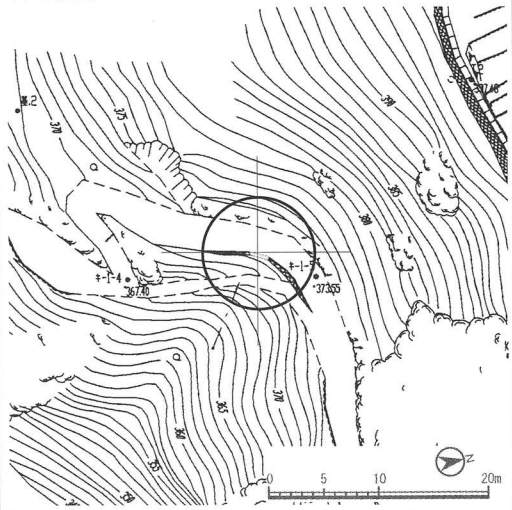


全景写真1



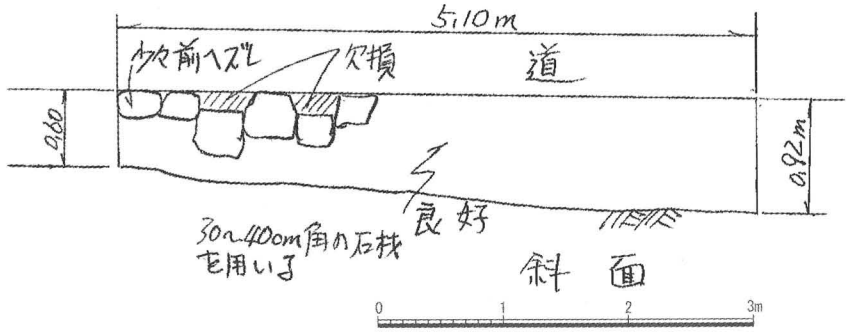
石垣番号	km_220	地区名	小松山城跡	曲輪名	
石垣部位	道路				
角の形状	右	入角			
	左	入角			
石垣延長	天端 5.10		下端 5.10		
石垣高さ	左 0.60		右 0.92		
	最高 0.92	最高点位置			
石垣勾配	左 0.00		右 0.45		
	最高地点 0.45				
地盤状況	土・斜面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	ヌケ・ズレ				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				

石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）



特記事項	天端数石欠損。少々ズレ出しみられるが、比較的良好。安定している。

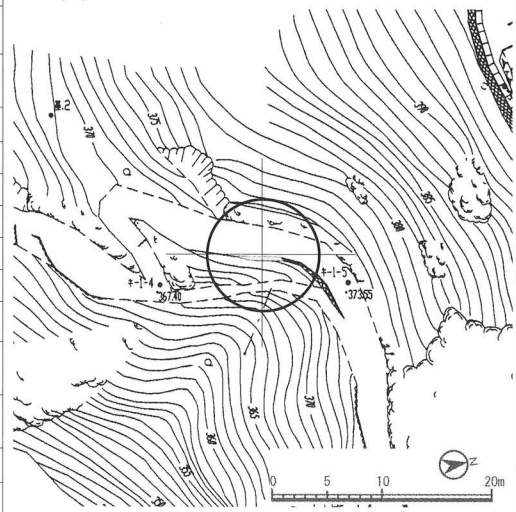
破損の要因と破損状況	略図
・施工法等構造上の問題などにより、ズレ、カケがみられる。	



全景写真1

石垣番号	km_221	地区名	小松山城跡	曲輪名	
石垣部位	道路				
角の形状	右	入角			
	左	すり付け			
石垣延長	天端 4.70		下端 4.70		
石垣高さ	左 0.00		右 0.60		
	最高 0.76	最高点位置			
石垣勾配	左 0.00		右 0.00		
	最高地点 0.22				
地盤状況	土・斜面				
石材種別	割石・その他				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	ヌケ・ズレ				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	右の一部のみ旧石垣。他は近年の修理（間知積）。安定している。				

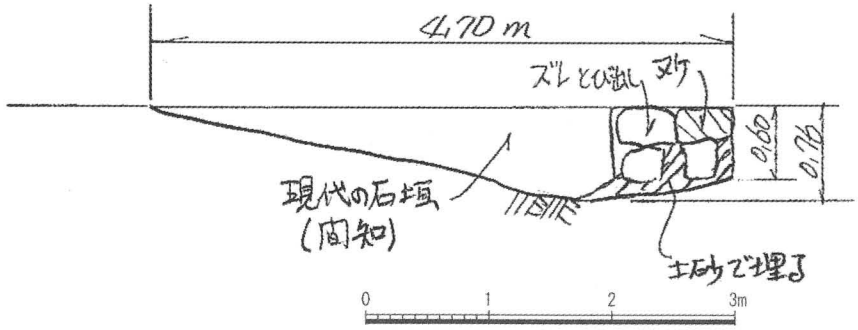
石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）



破損の要因と破損状況

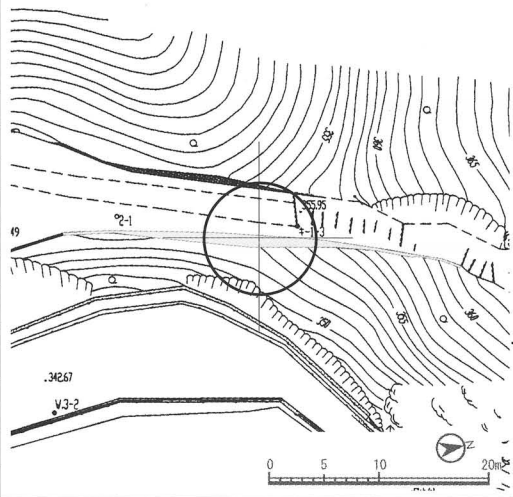
・施工法等構造上の問題などにより、ズレ、ヌケがみられる。

略図

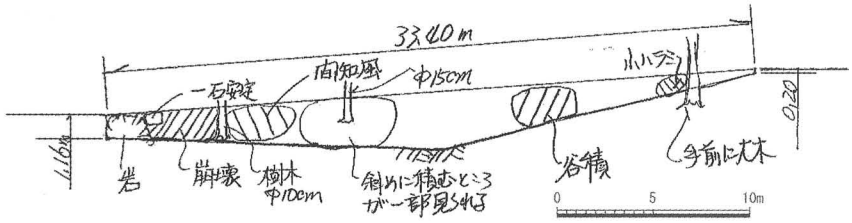


全景写真1

石垣番号	nt_001	地区名	中太鼓櫓跡	曲輪名	
石垣部位	道路			石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）	
角の形状	右	すり付け			
	左	入角			
石垣延長	天端 S33.40		下端 S33.40		
石垣高さ	左 1.16		右 0.20		
	最高 3.00	最高点位置			
石垣勾配	左 0.05		右 0.00		
	最高地点 0.20				
地盤状況	土・岩・斜面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	小ハラミ・部分崩壊				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	50cm前後、大きいもので１m程の石材を用いる。部分崩壊あるが比較的安定している。所々積み直しと思われる谷積みがみられる。				

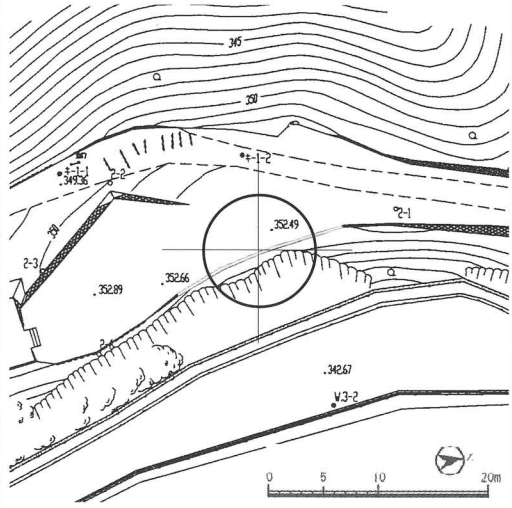


破損の要因と破損状況	略図
・施工法等構造上の問題などにより、小ハラミ、部分崩壊がみられる。	

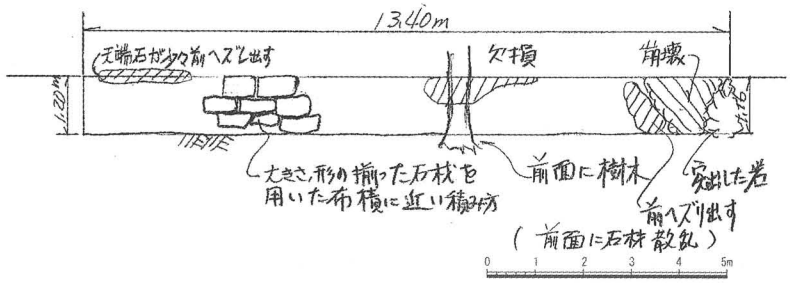


左変曲点ｎ

石垣番号	nt_002	地区名	中太鼓櫓跡	曲輪名	
石垣部位	郭			石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）	
角の形状	右	入角			
	左	入角			
石垣延長	天端 13.40		下端 13.40		
石垣高さ	左 1.20		右 1.16		
	最高 1.20	最高点位置			
石垣勾配	左 0.15		右 0.05		
	最高地点 0.15				
地盤状況	土・斜面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積・打込ハギ・布積				
石垣現状	ズレ・部分崩壊・小ハラミ・欠落				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	天端不陸。面が若干前に出たり、カーブしている箇所もあるが安定している。露岩の組込。				



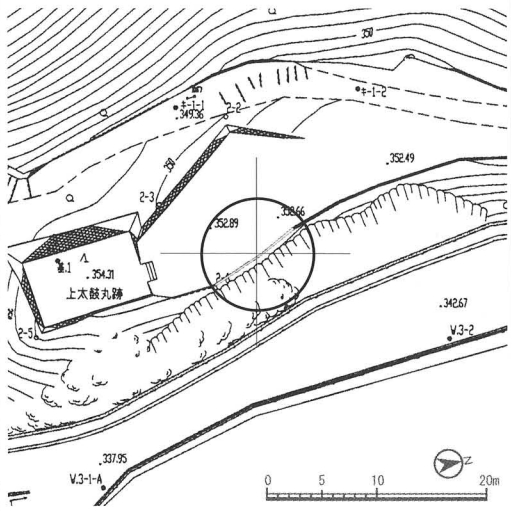
破損の要因と破損状況	略図
・施工法等構造上の問題などにより、ズレ、小ハラミ、カケがみられる。 ・岩盤と築石面の不整合などにより、部分崩壊がみられる。	



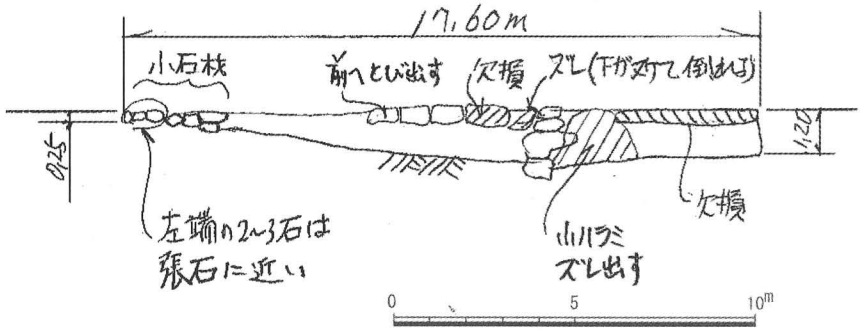
全景写真1

全景写真2

石垣番号	nt_003	地区名	中太鼓櫓跡	曲輪名	
石垣部位	郭			石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）	
角の形状	右	入角			
	左	すり付け			
石垣延長	天端 17.60		下端 17.60		
石垣高さ	左 0.25		右 1.20		
	最高 1.20	最高点位置			
石垣勾配	左 0.00		右 0.15		
	最高地点 0.15				
地盤状況	土・岩・斜面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	ズレ・小ハラミ・欠落				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	天端不陸。天端欠損。石垣面のズレ等あるが比較的安定している。				

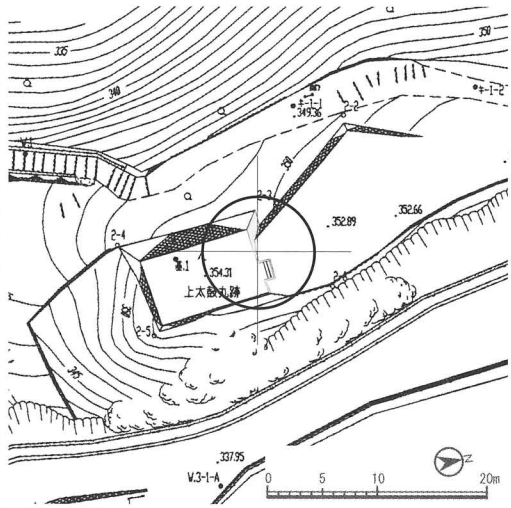


破損の要因と破損状況	略図
・施工法等構造上の問題などにより、ズレ、小ハラミ、カケがみられる。	

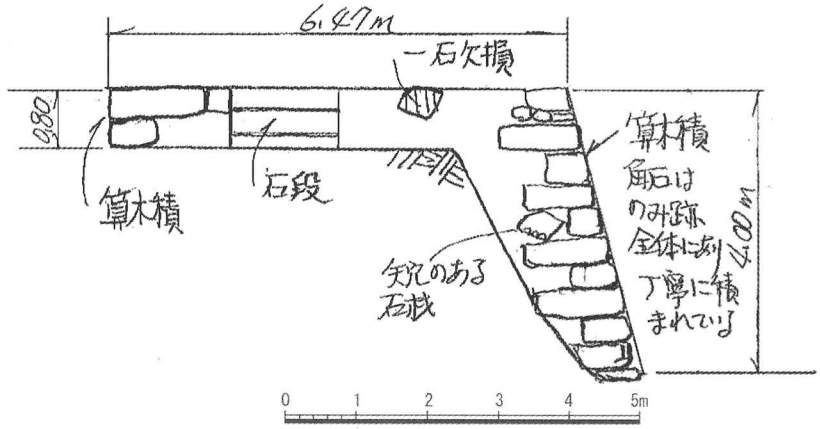


左変曲点

石垣番号	nt_004	地区名	中太鼓櫓跡	曲輪名	
石垣部位	櫓台			石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）	
角の形状	右	出角			
	左	出角			
石垣延長	天端 6.47		下端 8.17		
石垣高さ	左 0.80		右 4.00		
	最高 4.00	最高点位置			
石垣勾配	左 0.15		右 0.40		
	最高地点 0.40				
地盤状況	平坦面				
石材種別	割石・切石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	良好・欠落				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	地形に合わせて右は高石垣、左は１m以下の石垣。非常にみせることを意識している。丁寧に積んでいる。隅角は算木積(高)。角石は切石。				



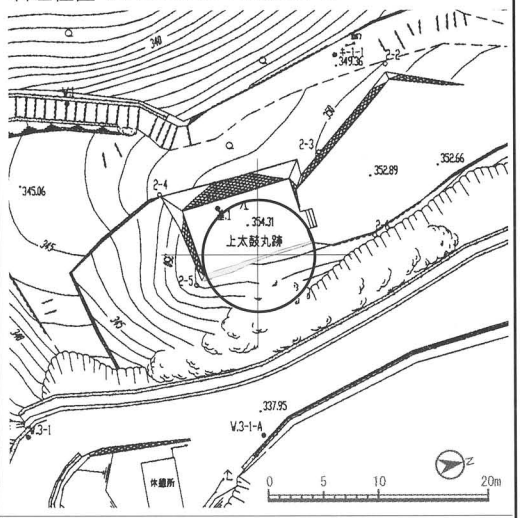
破損の要因と破損状況	略図
・施工法等構造上の問題などにより、カケがみられる。	



左変曲点

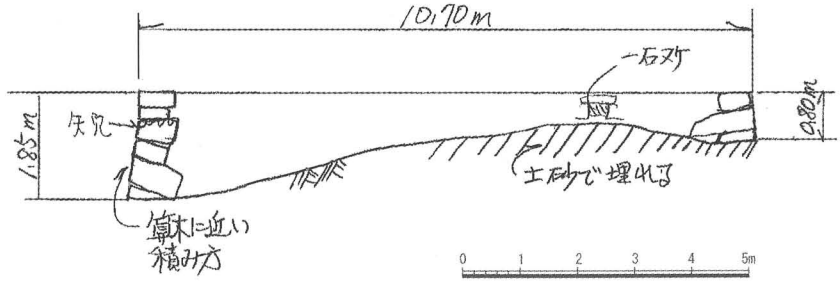
右変曲点

石垣番号	nt_005	地区名	中太鼓櫓跡	曲輪名	
石垣部位	櫓台			石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）	
角の形状	右	出角			
	左	出角			
石垣延長	天端 10.70		下端 10.90		
石垣高さ	左 1.85		右 0.80		
	最高 1.85	最高点位置			
石垣勾配	左 0.20		右 0.15		
	最高地点 0.20				
地盤状況	土・斜面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	ヌケ				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				



特記事項	右半は下半分埋もれる。角石は大きめ（1m）の整形した石を用いる。算木積（低）。nt4と比較して雑な積み方。みせる石垣でないため石もnt4に比較して加工度低い。矢穴跡あり。

破損の要因と破損状況	略図
・施工法等構造上の問題などにより、ヌケがみられる。	

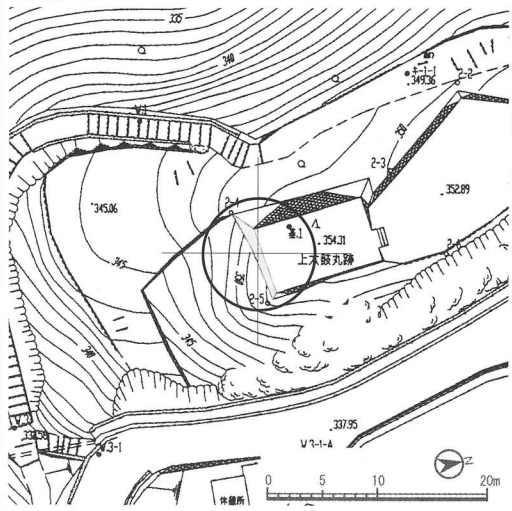


左変曲点

右変曲点

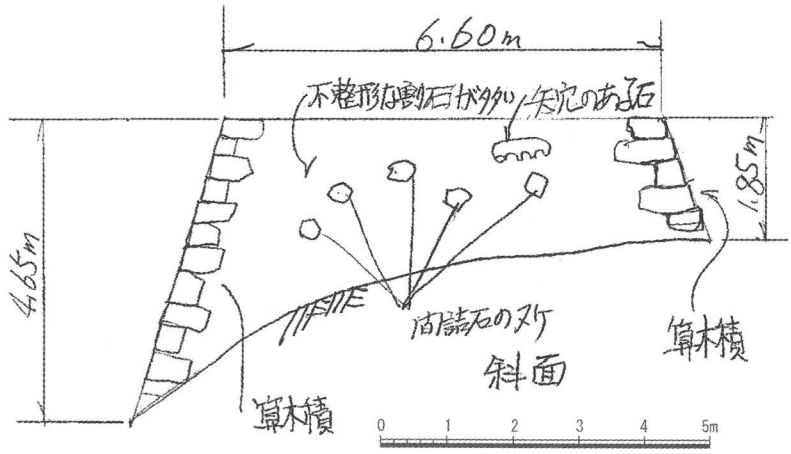
石垣番号	nt_006	地区名	中太鼓櫓跡	曲輪名	
石垣部位	櫓台				
角の形状	右	出角			
	左	出角			
石垣延長	天端 6.60		下端 8.80		
石垣高さ	左 4.65		右 1.85		
	最高 4.65	最高点位置			
石垣勾配	左 0.40		右 0.20		
	最高地点 0.40				
地盤状況	土・斜面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	良好				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	角はnt4ほどではないが算木積（高）で丁寧に積む。間詰石のヌケあり。矢穴跡あり。				

石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）



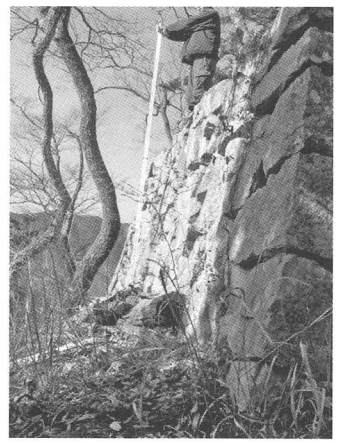
破損の要因と破損状況

略図



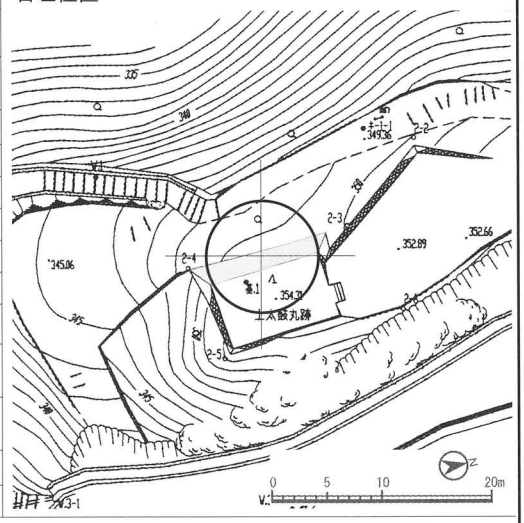
全景写真1

全景写真2



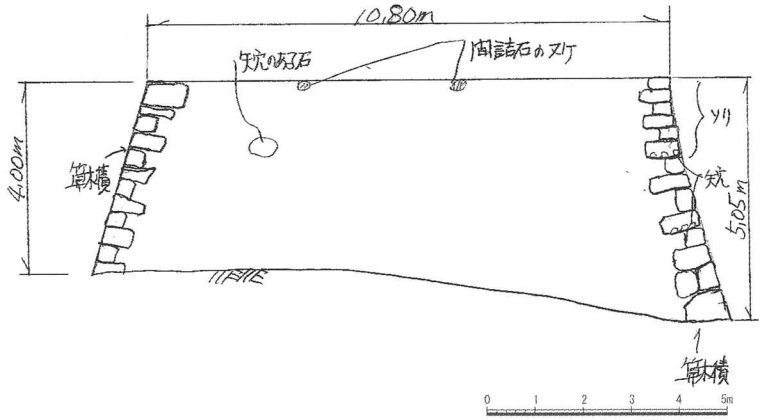
石垣番号	nt_007	地区名	中太鼓櫓跡	曲輪名	
石垣部位					
角の形状	右	出角			
	左	出角			
石垣延長	天端 10.80		下端 13.26		
石垣高さ	左 4.00		右 5.05		
	最高 5.05	最高点位置			
石垣勾配	左 0.40		右 0.40		
	最高地点 0.40				
地盤状況	土・平坦面				
石材種別	割石・切石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	良好				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	間詰石のヌケあり。隅角切石の算木積（高）。比較的大きめの石を用いる。矢穴跡あり。ソリあり。				

石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）



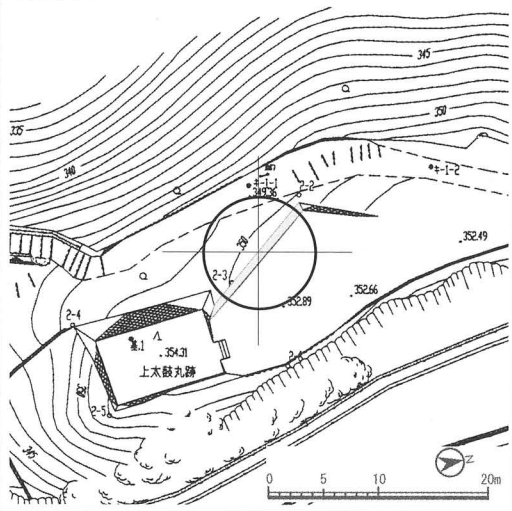
破損の要因と破損状況

略図

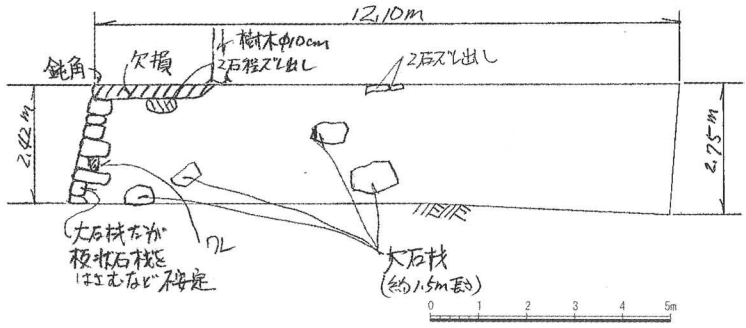


全景写真1

石垣番号	nt_008	地区名	中太鼓櫓跡	曲輪名	
石垣部位	郭			石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）	
角の形状	右	入角			
	左	出角・シノギ(低)			
石垣延長	天端 12.10		下端 13.80		
石垣高さ	左 2.42		右 2.75		
	最高 3.10	最高点位置			
石垣勾配	左 0.20		右 0.25		
	最高地点 0.25				
地盤状況	土・平坦面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	ズレ・割レ・欠落				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	B				
特記事項	表面が割レ、ハクリしている石材が所々にある。左側天端欠損。（比較的古い積み方か？）築石の石材は中太鼓で最も大きい。（みせることを意識している）シノギ。				



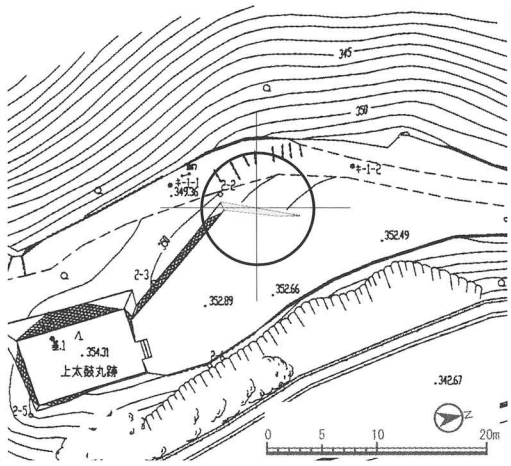
破損の要因と破損状況	略図
・施工法等構造上の問題などにより、ズレ、ワレ、カケがみられる。	



左変曲点

全景写真1

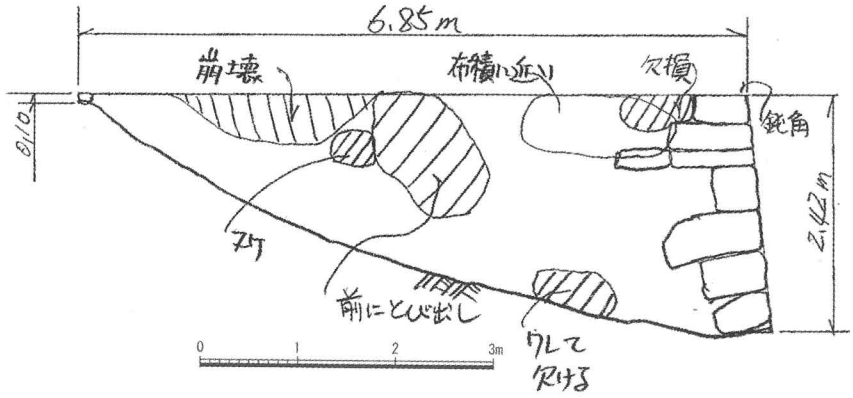
石垣番号	nt_009	地区名	中太鼓櫓跡	曲輪名	
石垣部位	郭			石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）	
角の形状	右	出角・シノギ(低)			
	左	すり付け			
石垣延長	天端 6.80		下端 7.05		
石垣高さ	左 0.10		右 2.42		
	最高 2.42	最高点位置			
石垣勾配	左 0.00		右 0.20		
	最高地点 0.20				
地盤状況	土・斜面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積・打込ハギ・布積				
石垣現状	ズレ・ヌケ・割レ・部分崩壊・欠落				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	B				
特記事項	左は上部崩壊。隅角鈍角。右上半は布積風。ヌケ、割レ、崩落等があって少々不安定。比較的古い積み方か？しのぎ。				



破損の要因と破損状況

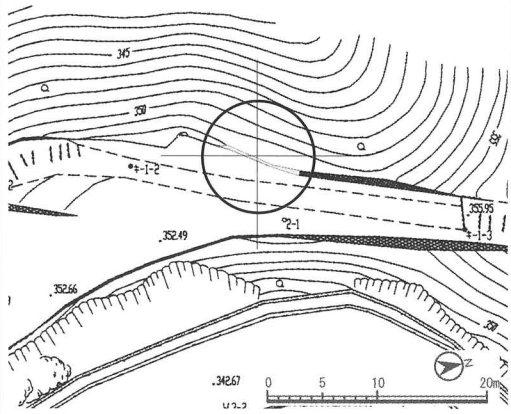
・施工法等構造上の問題などにより、ズレ、ヌケ、部分崩壊、ワレ、カケがみられる。

略図

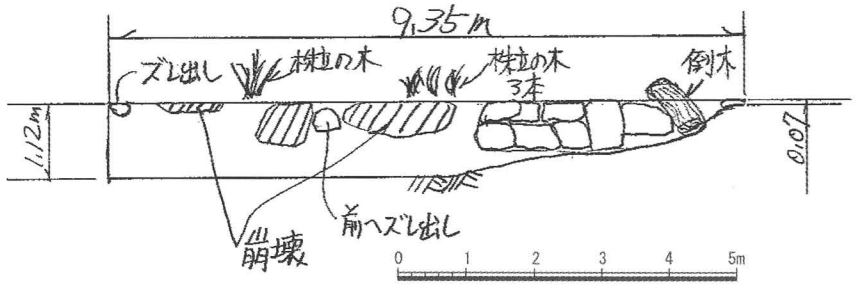


全景写真1

石垣番号	nt_010	地区名	中太鼓櫓跡	曲輪名	
石垣部位	道路			石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）	
角の形状	右	すり付け			
	左	入角			
石垣延長	天端 9.35		下端 9.35		
石垣高さ	左 1.12		右 0.07		
	最高 1.12	最高点位置			
石垣勾配	左 0.15		右 0.00		
	最高地点 0.15				
地盤状況	土・斜面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	ズレ・部分崩壊				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	B				
特記事項	中央崩壊。左天端欠損。崩壊したなりに安定している。				

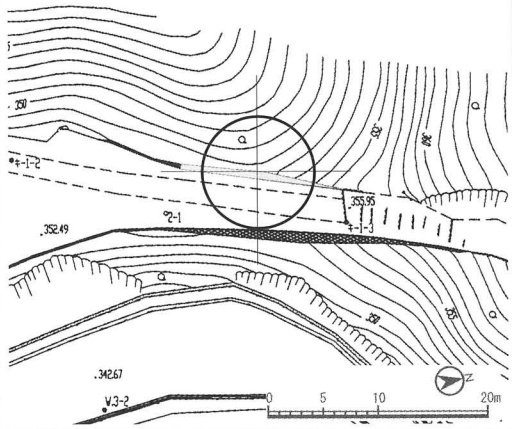


破損の要因と破損状況	略図
・施工法等構造上の問題などにより、ズレ、部分崩壊がみられる。	

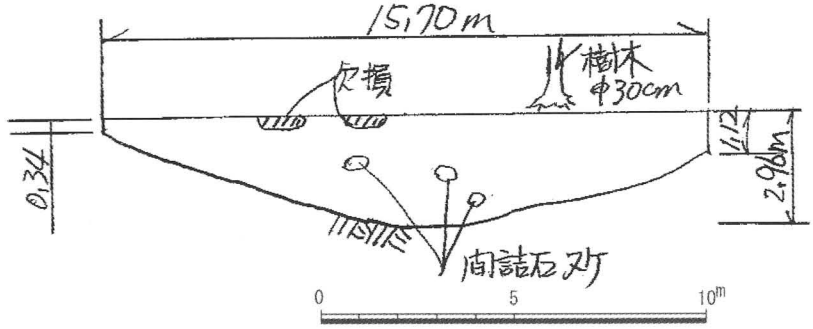


全景写真1

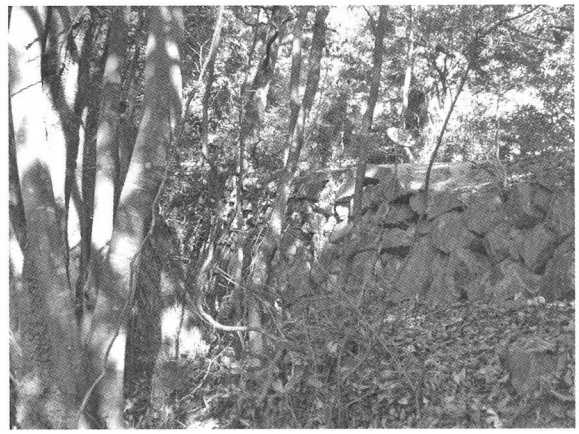
石垣番号	nt_011	地区名	中太鼓櫓跡	曲輪名	
石垣部位	道路			石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）	
角の形状	右	入角			
	左	すり付け			
石垣延長	天端 15.70		下端 15.70		
石垣高さ	左 0.34		右 1.12		
	最高 2.96	最高点位置			
石垣勾配	左 0.00		右 0.15		
	最高地点 0.15				
地盤状況	土・斜面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	ズレ・欠落				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	間詰石のヌケあり。安定している。				



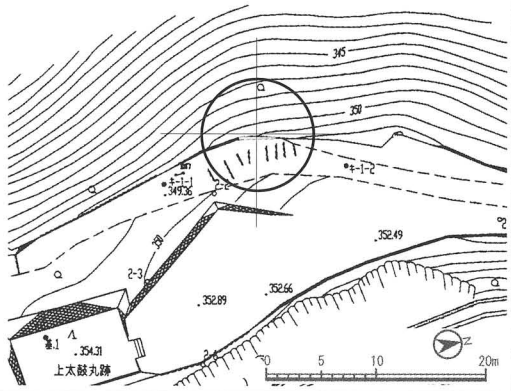
破損の要因と破損状況	略図
・施工法等構造上の問題などにより、ズレ、カケがみられる。	



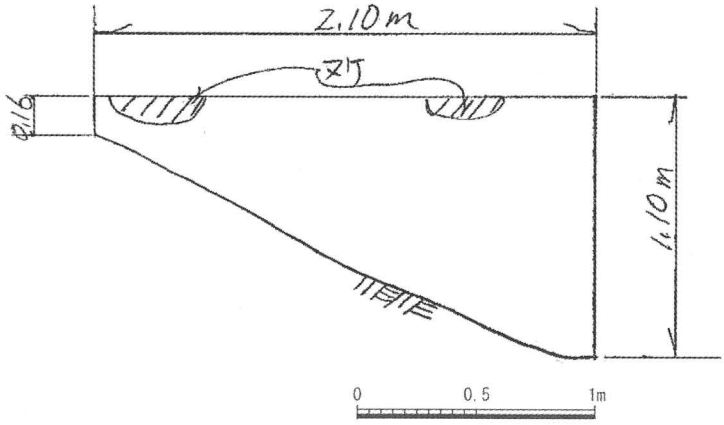
全景写真1



石垣番号	nt_012	地区名	中太鼓櫓跡	曲輪名	
石垣部位	道路			石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）	
角の形状	右	出角			
	左	すり付け			
石垣延長	天端 2.10		下端 2.10		
石垣高さ	左 0.16		右 1.10		
	最高 1.10	最高点位置			
石垣勾配	左 0.00		右 0.10		
	最高地点 0.00				
地盤状況	土・斜面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	欠落				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	B				
特記事項	雑な積み方であるが、特別問題ない。				

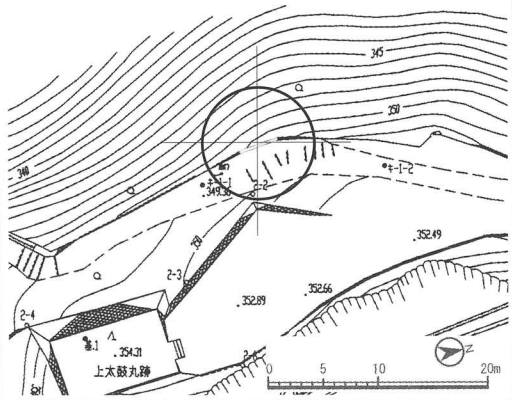


破損の要因と破損状況	略図
・施工法等構造上の問題などにより、カケがみられる。	

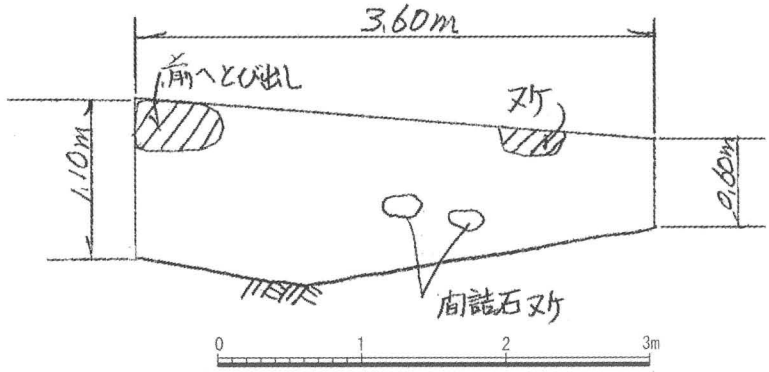


全景写真1

石垣番号	nt_013	地区名	中太鼓櫓跡	曲輪名	
石垣部位	道路			石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）	
角の形状	右	出角			
	左	出角			
石垣延長	天端 3.60		下端 3.60		
石垣高さ	左 1.10		右 0.60		
	最高 1.22	最高点位置			
石垣勾配	左 0.10		右 0.00		
	最高地点 0.12				
地盤状況	土・斜面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	ヌケ・ズレ				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	B				
特記事項	雑な積み方でヌケ、ズレ出しもみられるが安定している。間詰石のヌケあり。				



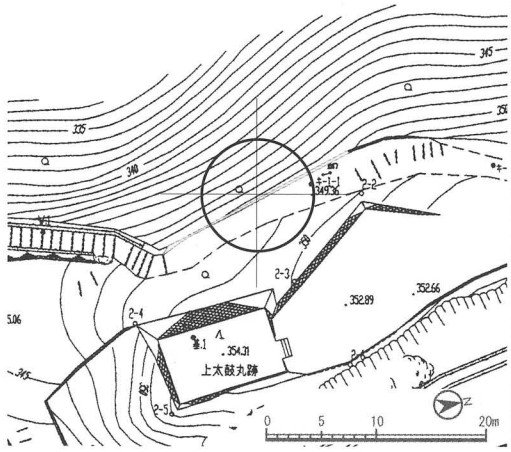
破損の要因と破損状況	略図
・施工法等構造上の問題などにより、ズレ、ヌケがみられる。	



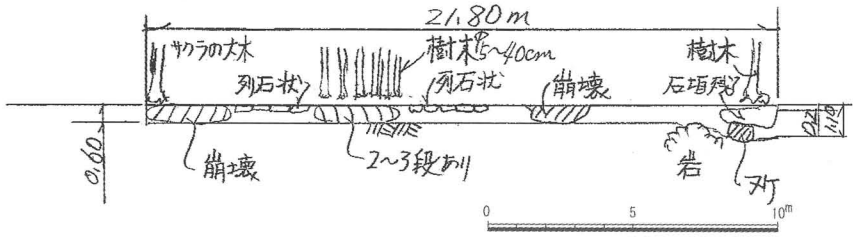
全景写真1

左変曲点

石垣番号	nt_014	地区名	中太鼓櫓跡	曲輪名	
石垣部位	道路			石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）	
角の形状	右	すり付け			
	左	出角			
石垣延長	天端 21.80		下端 21.80		
石垣高さ	左 0.60		右 0.20		
	最高 1.10	最高点位置			
石垣勾配	左 0.00		右 0.00		
	最高地点 0.10				
地盤状況	土・岩・斜面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	ヌケ・部分崩壊				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	B				
特記事項	右端のみよくみえる。左端崩壊。この間は列石状に一石のみみえる。下は埋もれ石あるかどうか不明。所々２～３段みえる。				

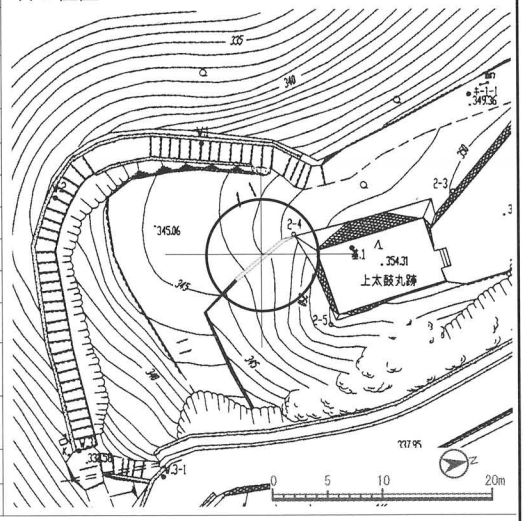


破損の要因と破損状況	略図
・施工法等構造上の問題などにより、部分崩壊がみられる。 ・石垣天端の樹木の影響などにより、部分崩壊がみられる。 ・岩盤と築石面の不整合などにより、ヌケがみられる。	



右変曲点

石垣番号	nt_015	地区名	中太鼓櫓跡	曲輪名	
石垣部位	郭			石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）	
角の形状	右	出角			
	左	すり付け			
石垣延長	天端 5.80		下端 5.80		
石垣高さ	左 0.24		右 0.95		
	最高 0.95	最高点位置			
石垣勾配	左 0.00		右 0.30		
	最高地点 0.30				
地盤状況	土・斜面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	小ハラミ・部分崩壊				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	小さめの割石を用いる。天端所々崩壊欠損。				

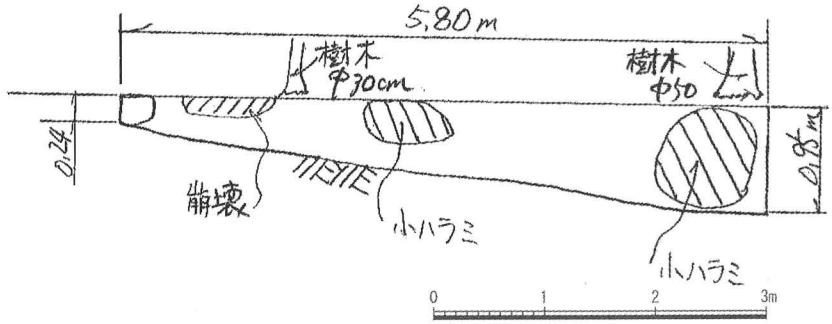


破損の要因と破損状況

・施工法等構造上の問題などにより、小ハラミがみられる。

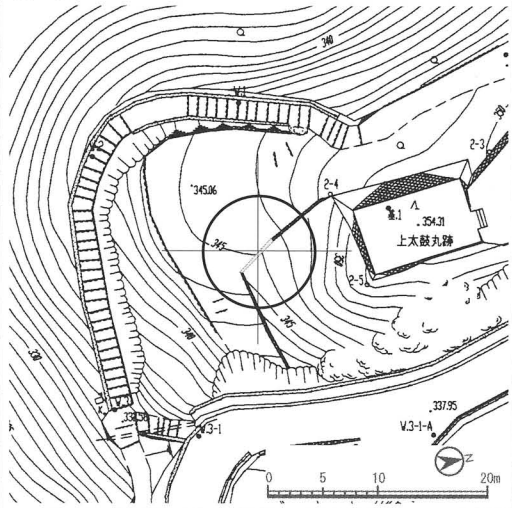
・石垣天端の樹木の影響などにより、部分崩壊がみられる。

略図



全景写真1

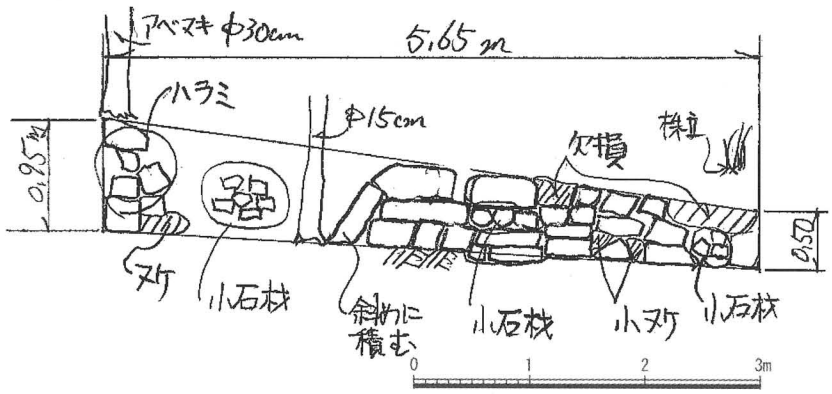
石垣番号	nt_016	地区名	中太鼓櫓跡	曲輪名	
石垣部位	土留			石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）	
角の形状	右	出角			
	左	すり付け(nt_015)			
石垣延長	天端 5.65		下端 5.65		
石垣高さ	左 0.95		右 0.50		
	最高 0.95	最高点位置			
石垣勾配	左 0.30		右 0.00		
	最高地点 0.30				
地盤状況	平坦面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	ヌケ・ハラミ				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	小石材が混じる。間詰石のヌケあり。				



破損の要因と破損状況

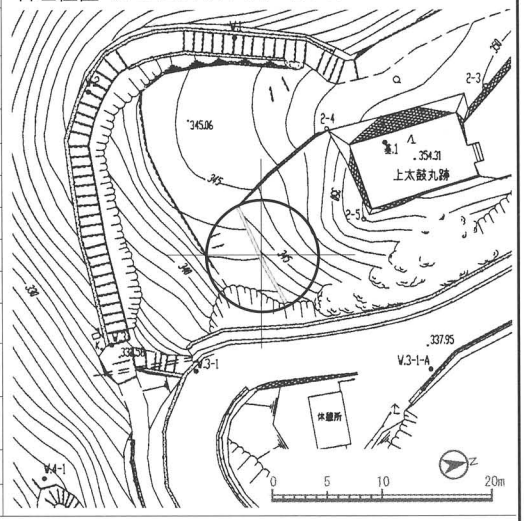
- 施工法等構造上の問題などにより、ヌケ、カケがみられる。
- 石垣天端の樹木の影響などにより、ハラミがみられる。

略図



全景写真1

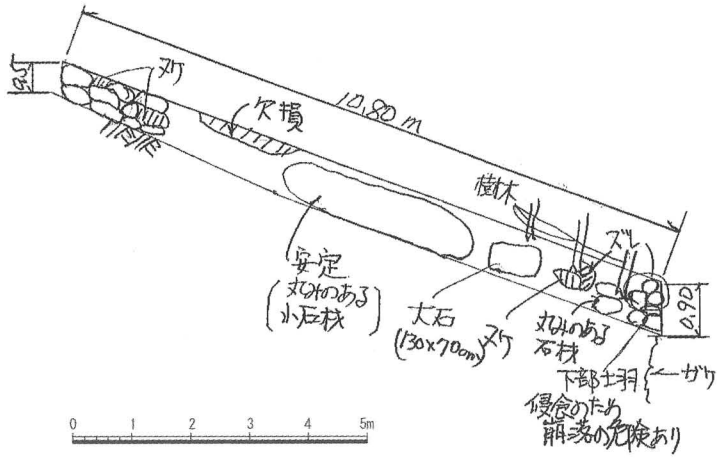
石垣番号	nt_017	地区名	中太鼓櫓跡	曲輪名	
石垣部位	郭			石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）	
角の形状	右	すり付け			
	左				
石垣延長	天端 S10.89		下端 S10.89		
石垣高さ	左 0.50		右 0.90		
	最高 0.90	最高点位置			
石垣勾配	左 0.00		右 0.20		
	最高地点 0.20				
地盤状況	斜面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	ヌケ・ズレ・欠落				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	A				
特記事項	東側隅角の築石がゆるみ、また地盤が崩れて、崩落の危険が高い。				



破損の要因と破損状況

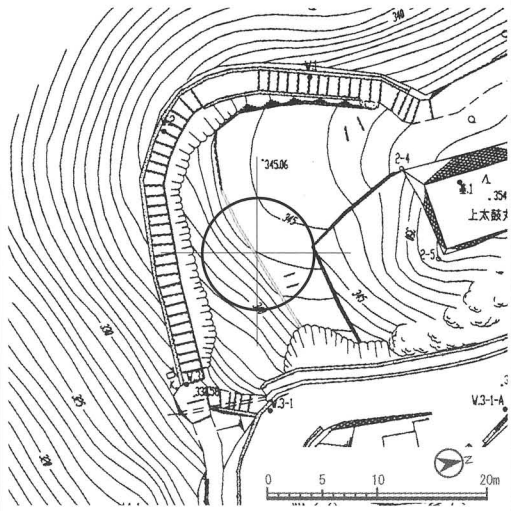
- 施工法等構造上の問題などにより、ズレ、ヌケがみられる。
- 石垣面の樹木の影響などにより、ヌケがみられる。
- 小石材の影響などにより隣接する石垣に、カケがみられる。
- 大石の影響などにより、ヌケがみられる。

略図

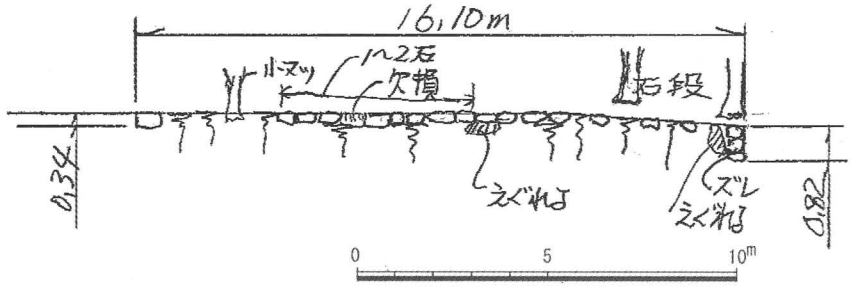


右変曲点

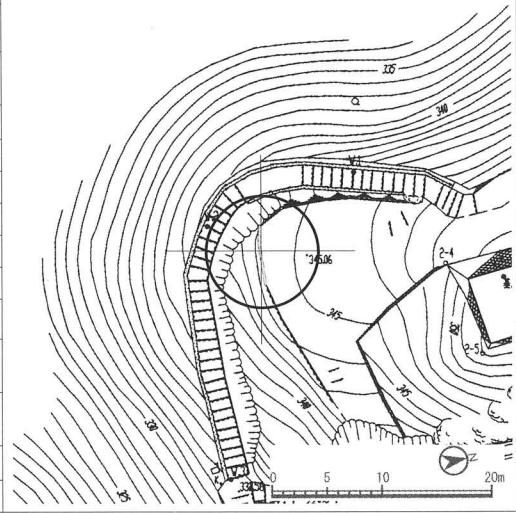
石垣番号	nt_018	地区名	中太鼓櫓跡	曲輪名	
石垣部位	石段			石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）	
角の形状	右	すり付け			
	左	すり付け			
石垣延長	天端 16.10		下端 16.10		
石垣高さ	左 0.34		右 0.82		
	最高 0.82		最高点位置		
石垣勾配	左 0.00		右 0.00		
	最高地点 0.00				
地盤状況	斜面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	欠落				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	B				
特記事項	列石状に斜面に沿って並ぶ。				



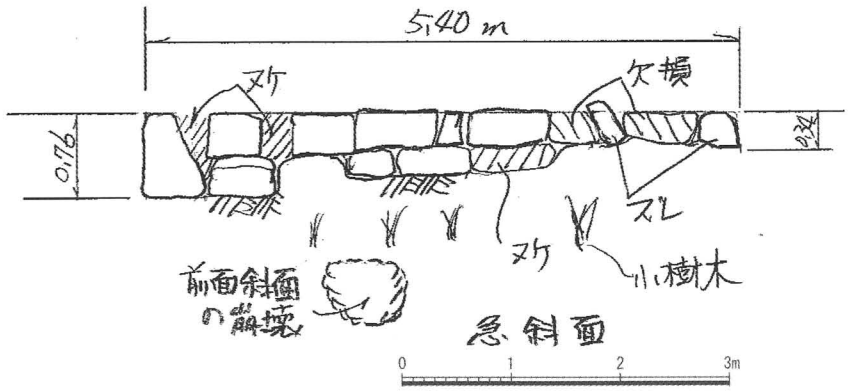
破損の要因と破損状況	略図
・施工法等構造上の問題などにより、カケがみられる。	



石垣番号	nt_019	地区名	中太鼓櫓跡	曲輪名	
石垣部位				石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）	
角の形状	右	すり付け			
	左	出角			
石垣延長	天端 5.40		下端 5.40		
石垣高さ	左 0.76		右 0.34		
	最高 0.76	最高点位置			
石垣勾配	左 0.00		右 0.00		
	最高地点 0.00				
地盤状況	斜面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	ヌケ・ズレ・欠落				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	B				
特記事項	前面斜面の崩落が顕著。				

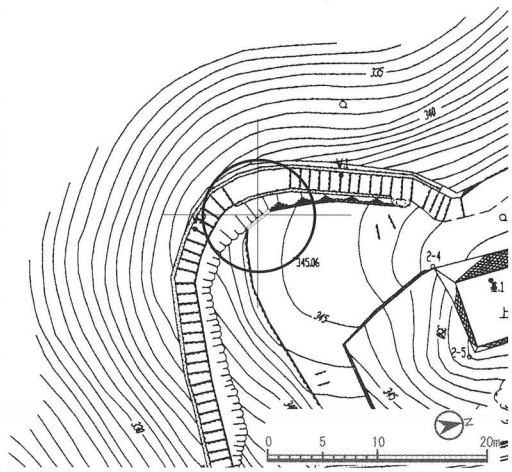


破損の要因と破損状況	略図
・施工法等構造上の問題などにより、ズレ、ヌケ、カケがみられる。	



左変曲点

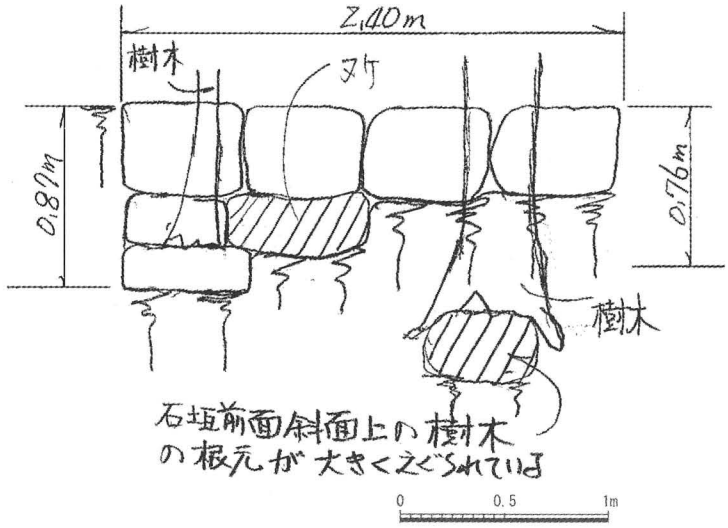
石垣番号	nt_020	地区名	中太鼓櫓跡	曲輪名	
石垣部位	櫓台			石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）	
角の形状	右	出角			
	左	出角			
石垣延長	天端 2.40		下端 2.40		
石垣高さ	左 0.87		右 0.76		
	最高 0.87	最高点位置			
石垣勾配	左 0.00		右 0.00		
	最高地点 0.00				
地盤状況	斜面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	ヌケ				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	B				
特記事項	前面斜面の崩落が顕著。				



破損の要因と破損状況

・石垣前面の樹木の影響などにより、ヌケがみられる。

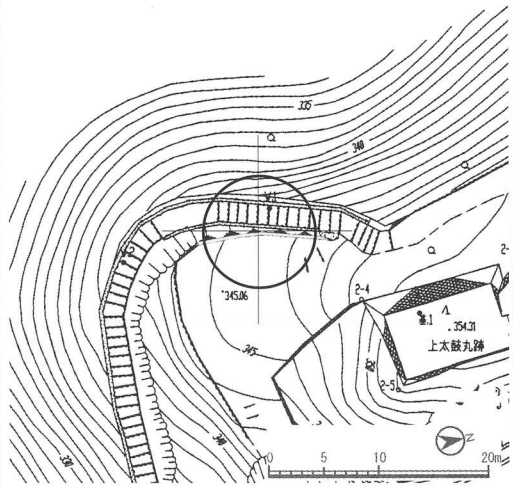
略図



左変曲点

右変曲点

石垣番号	nt_021	地区名	中太鼓櫓跡	曲輪名	
石垣部位	櫓台			石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）	
角の形状	右	出角			
	左	すり付け			
石垣延長	天端 13.60		下端 13.60		
石垣高さ	左 0.73		右 0.87		
	最高 1.25	最高点位置			
石垣勾配	左 0.00		右 0.00		
	最高地点 0.10				
地盤状況	斜面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	部分崩壊・ヌケ				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	A				

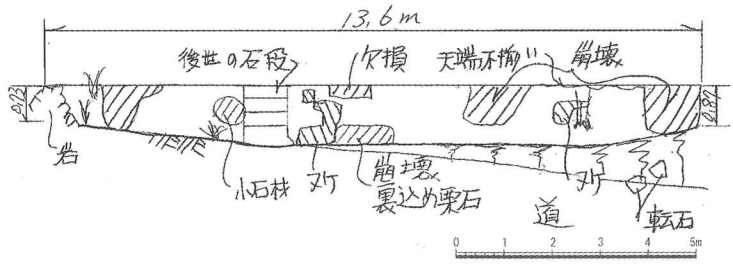


特記事項	築石が大きく崩れ、道に転石がみられる。地盤の崩れがみられる。天端が不揃い。

破損の要因と破損状況

- 施工法等構造上の問題などにより、ヌケ、部分崩壊がみられる。
- 石垣面の樹木の影響などにより、ヌケがみられる。

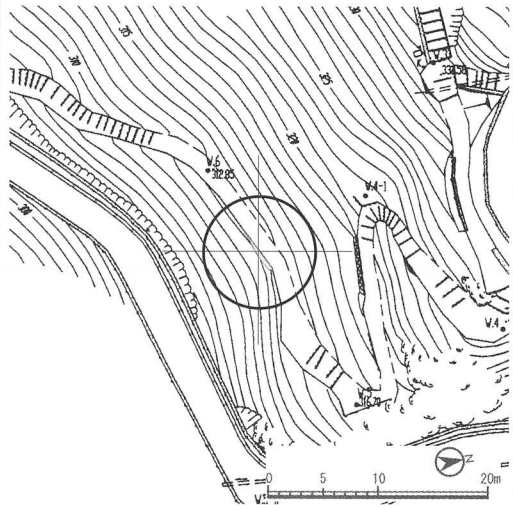
略図



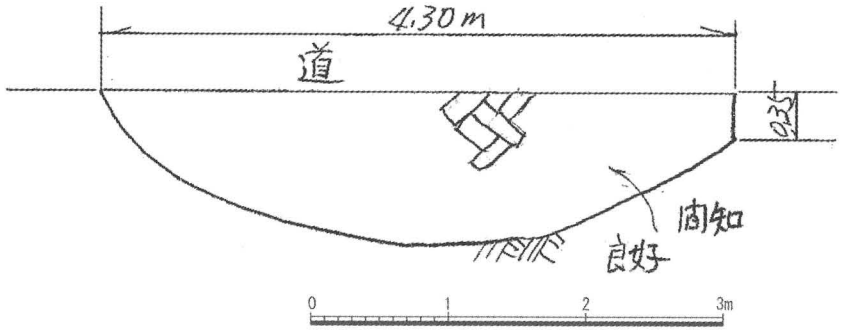
左変曲点

全景写真1

石垣番号	nt_022	地区名	中太鼓櫓跡	曲輪名	
石垣部位	道路			石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）	
角の形状	右	すり付け			
	左	すり付け			
石垣延長	天端 4.30		下端 0.60		
石垣高さ	左 0.05		右 0.35		
	最高 1.09	最高点位置			
石垣勾配	左 0.00		右 0.00		
	最高地点 0.32				
地盤状況	斜面				
石材種別	割石				
石積工法	その他				
石垣現状	良好				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	現代の擁壁。谷積。				

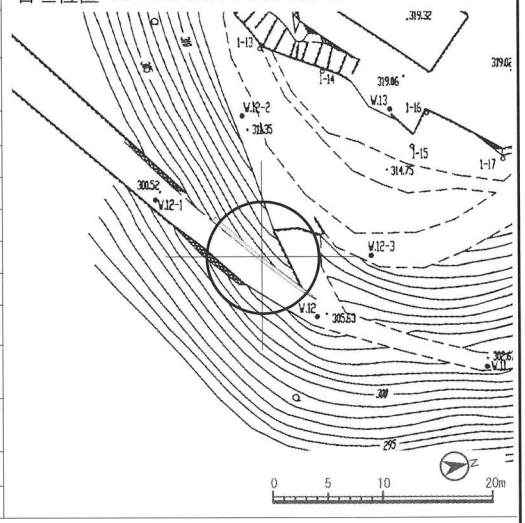


破損の要因と破損状況	略図

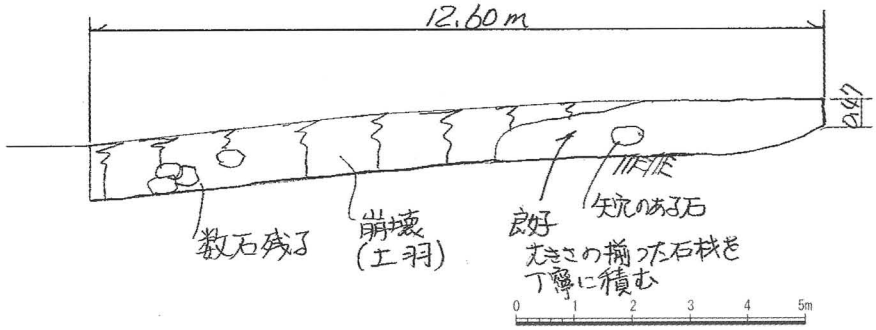


全景写真1

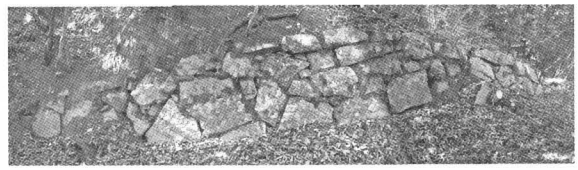
石垣番号	st_001	地区名	下太鼓の丸跡	曲輪名	
石垣部位	道路・土留			石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）	
角の形状	右	すり付け			
	左	出角			
石垣延長	天端 12.60		下端 12.60		
石垣高さ	左 0.00		右 0.47		
	最高 0.95	最高点位置			
石垣勾配	左 0.00		右 0.20		
	最高地点 0.15				
地盤状況	土・斜面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	部分崩壊				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	B				
特記事項	左半の大半石垣ナシ。残存部は良好。矢穴跡あり。				



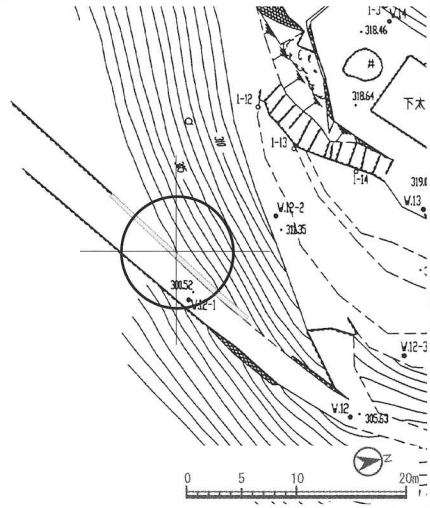
破損の要因と破損状況	略図
・施工法等構造上の問題などにより、部分崩壊がみられる。	



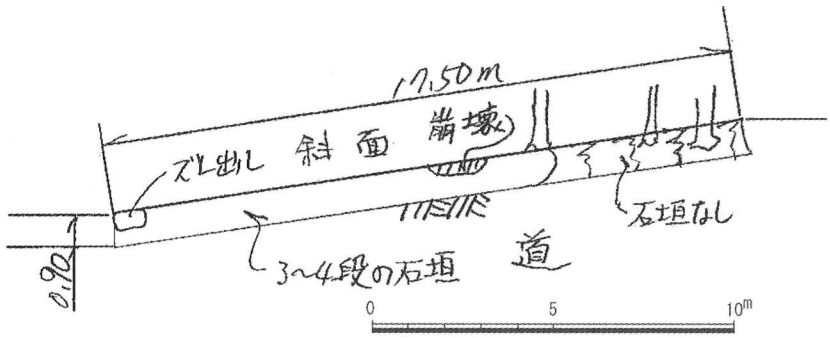
全景写真1



石垣番号	st_002	地区名	下太鼓の丸跡	曲輪名	
石垣部位	道路・土留			石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）	
角の形状	右	出角			
	左	出角			
石垣延長	天端 S17.50		下端 S17.50		
石垣高さ	左 0.90		右 0.00		
	最高 0.90	最高点位置			
石垣勾配	左 0.00		右 0.00		
	最高地点 0.00				
地盤状況	土・斜面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	部分崩壊・ズレ				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	腰石積風の石垣。土砂が上に流れ込んでいるが安定している。				



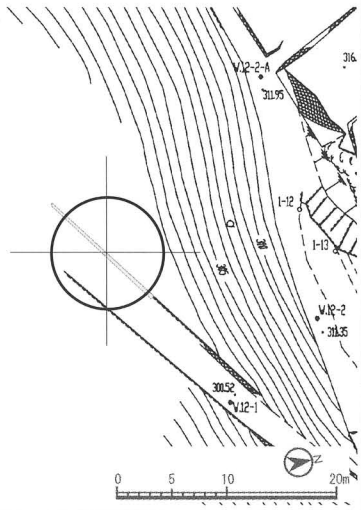
破損の要因と破損状況	略図
・施工法等構造上の問題などにより、ズレ、部分崩壊がみられる。	



全景写真1

全景写真2

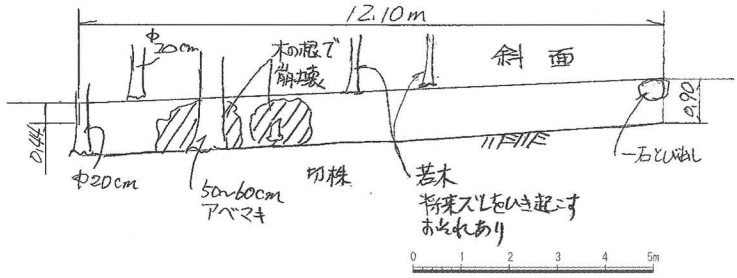
石垣番号	st_003	地区名	下太鼓の丸跡	曲輪名	
石垣部位	道路・土留			石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）	
角の形状	右	出角			
	左	すり付け			
石垣延長	天端 12.10		下端 12.10		
石垣高さ	左 0.44		右 0.90		
	最高 1.04	最高点位置			
石垣勾配	左 0.00		右 0.00		
	最高地点 0.32				
地盤状況	土・斜面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	ズレ・部分崩壊				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	B				
特記事項	天端ラインは不揃いであるが残存部は安定している。30cm程の石材を用いる。				



破損の要因と破損状況

- 施工法等構造上の問題などにより、ズレがみられる。
- 石垣面の樹木の影響などにより、部分崩壊がみられる。

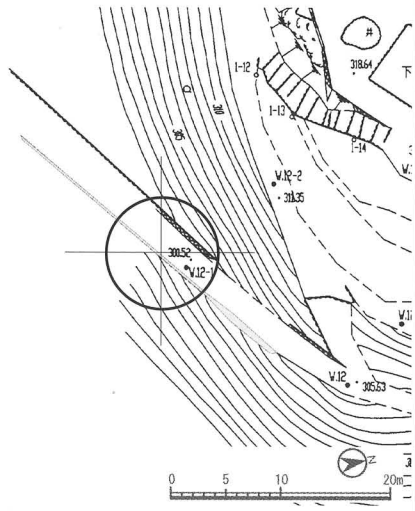
略図



右変曲点

左変曲点

石垣番号	st_004	地区名	下太鼓の丸跡	曲輪名	
石垣部位	道路			石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）	
角の形状	右	すり付け			
	左	すり付け			
石垣延長	天端 S22.20		下端 S22.20		
石垣高さ	左 0.61		右 0.30		
	最高 1.40	最高点位置			
石垣勾配	左 0.00		右 0.00		
	最高地点 0.27				
地盤状況	土・斜面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	部分崩壊・ズレ・ヌケ・ハラミ				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	B				

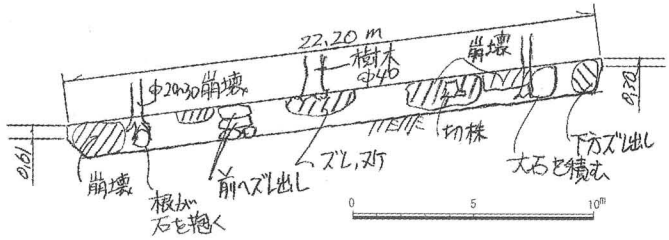


特記事項	樹木によると思われる崩落多数あり。大きなハラミ１ヶ所あり。

破損の要因と破損状況

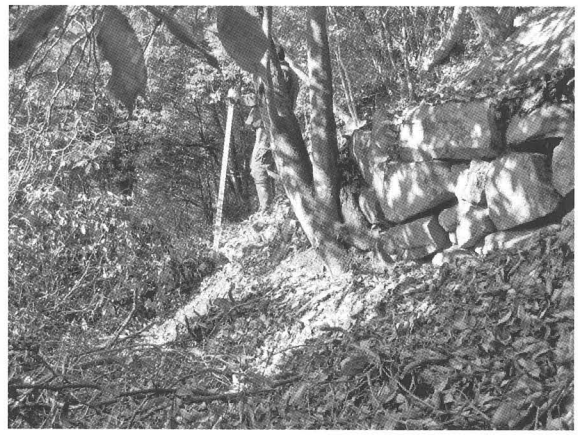
- 施工法等構造上の問題などにより、ズレ、部分崩壊がみられる。
- 石垣天端の樹木の影響などにより、ズレ、ヌケがみられる。
- 石垣面の樹木の影響などにより、部分崩壊、ハラミがみられる。

略図

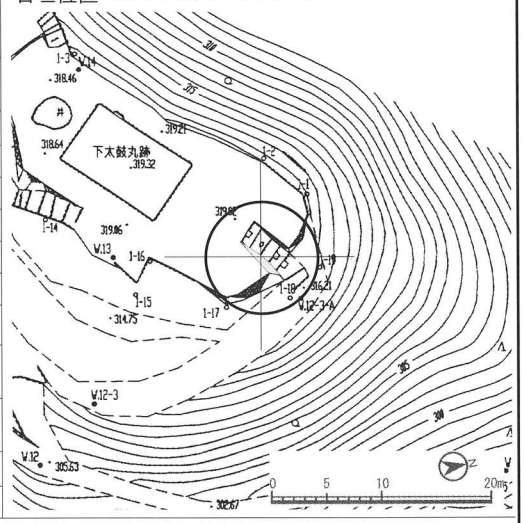


右変曲点

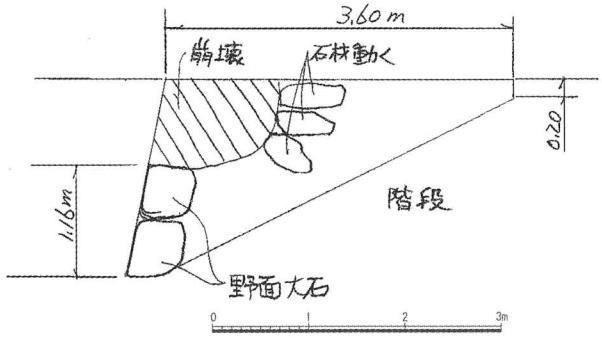
左変曲点



石垣番号	st_005	地区名	下太鼓の丸跡	曲輪名	
石垣部位	櫓台			石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）	
角の形状	右	すり付け			
	左	出角			
石垣延長	天端 3.60		下端 4.00		
石垣高さ	左 1.16		右 0.20		
	最高 1.16	最高点位置			
石垣勾配	左 0.40		右 0.00		
	最高地点 0.40				
地盤状況	土？				
石材種別	野面石・割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	部分崩壊				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	A				
特記事項	左角部崩壊欠損。櫓台で欠損部目立つ。				



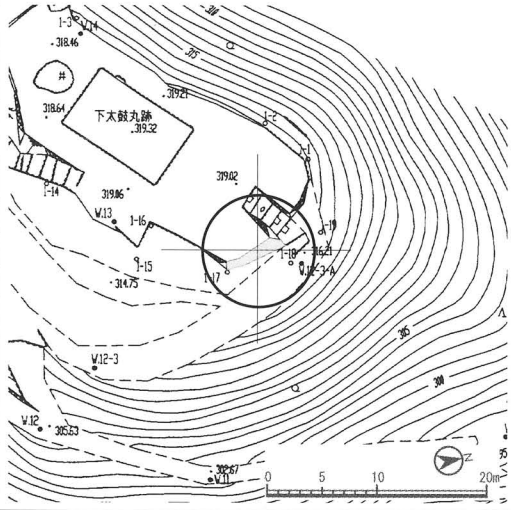
破損の要因と破損状況	略図
・施工法等構造上の問題などにより、部分崩壊がみられる。	



全景写真１

石垣番号	st_006	地区名	下太鼓の丸跡	曲輪名	
石垣部位	櫓台				
角の形状	右	出角			
	左	出角・シノギ(低)			
石垣延長	天端 5.10		下端 5.80		
石垣高さ	左 1.74		右 1.16		
	最高 2.05	最高点位置			
石垣勾配	左 0.15		右 0.40		
	最高地点 0.15				
地盤状況	土・岩・斜面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	ヌケ・部分崩壊				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	B				
特記事項	右角崩壊欠損で大きく抉れる。美観上も問題あり。比較的古い？数石ヌケ。崩壊進む可能性あり。露岩の組込。シノギ。				

石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）

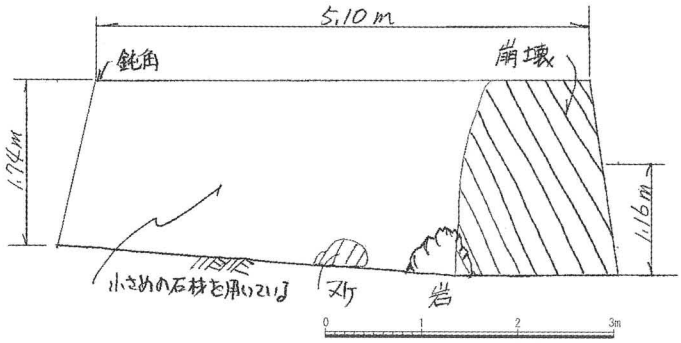


破損の要因と破損状況

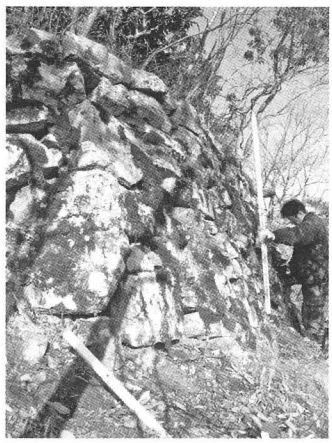
・施工法等構造上の問題などにより、ヌケ、部分崩壊がみられる。

・露岩と築石面の不整合などにより、部分崩壊がみられる。

略図

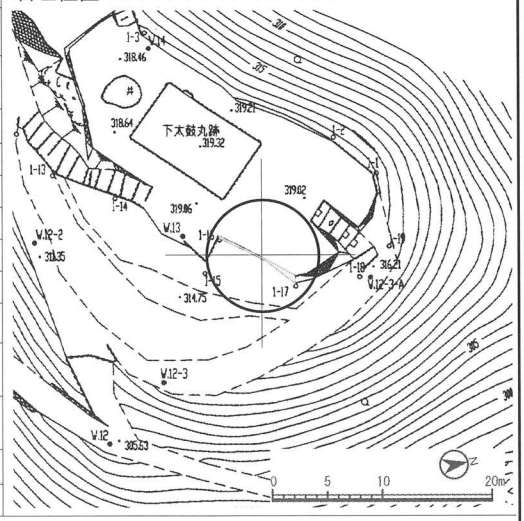


左変曲点



右変曲点

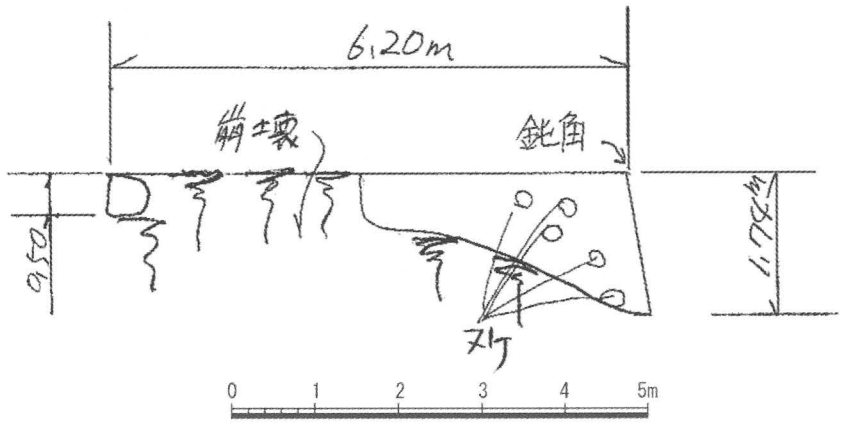
石垣番号	st_007	地区名	下太鼓の丸跡	曲輪名	
石垣部位	櫓台			石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）	
角の形状	右	出角・シノギ(低)			
	左	（本来入角、崩壊）			
石垣延長	天端 6.20		下端 6.20		
石垣高さ	左 0.50		右 1.74		
	最高 1.74	最高点位置			
石垣勾配	左 0.00		右 0.15		
	最高地点 0.15				
地盤状況	土・斜面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	ヌケ・部分崩壊				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	B				
特記事項	隅角鈍角。所々間詰ヌケ。左半崩壊石材ほとんどナシ。しのぎ。				



破損の要因と破損状況

・施工法等構造上の問題などにより、ヌケ、部分崩壊がみられる。

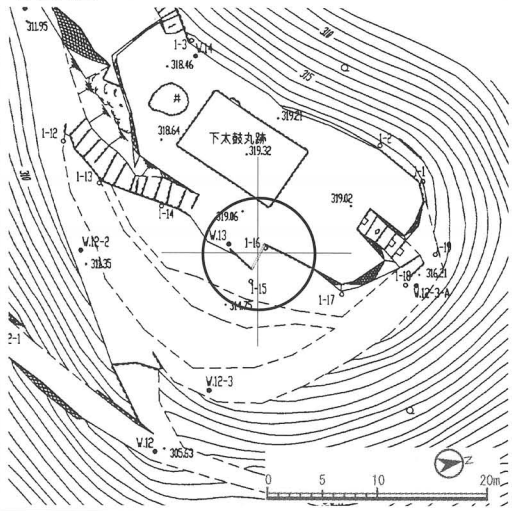
略図



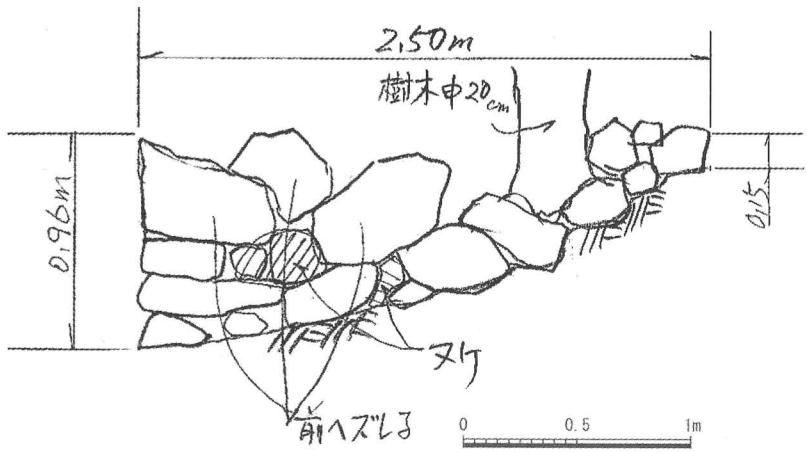
全景写真1

全景写真2

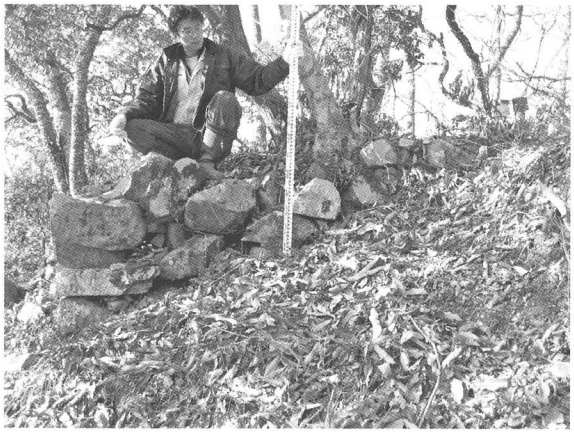
石垣番号	st_008	地区名	下太鼓の丸跡	曲輪名	
石垣部位	櫓台			石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）	
角の形状	右	入角(本来入角)			
	左	出角			
石垣延長	天端 2.50		下端 2.50		
石垣高さ	左 0.96		右 0.15		
	最高 0.96	最高点位置			
石垣勾配	左 0.00		右 0.00		
	最高地点 0.00				
地盤状況	土・斜面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	ヌケ・ズレ				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	B				
特記事項	左端崩壊しかけている。ヌケ、地盤のユルミ等で崩落の危険性あり。				



破損の要因と破損状況	略図
・施工法等構造上の問題などにより、ズレ、ヌケがみられる。	

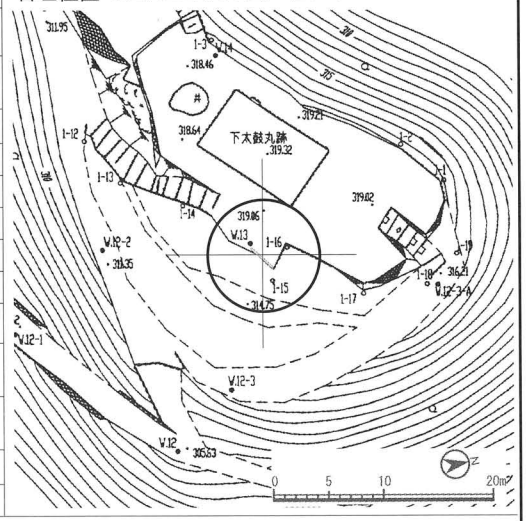


全景写真1

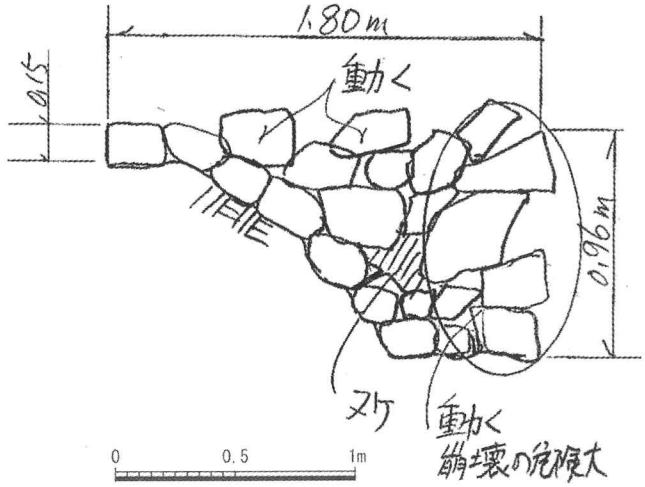


石垣番号	st_009	地区名	下太鼓の丸跡	曲輪名	
石垣部位	櫓台				
角の形状	右	出角			
	左	入角			
石垣延長	天端 1.80		下端 1.80		
石垣高さ	左 0.20		右 0.96		
	最高 0.96	最高点位置			
石垣勾配	左 0.00		右 0.00		
	最高地点 0.00				
地盤状況	土・岩・斜面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	ヌケ・ズレ				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	B				
特記事項	右角全石材が動き出し崩壊の危険性あり。				

石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）

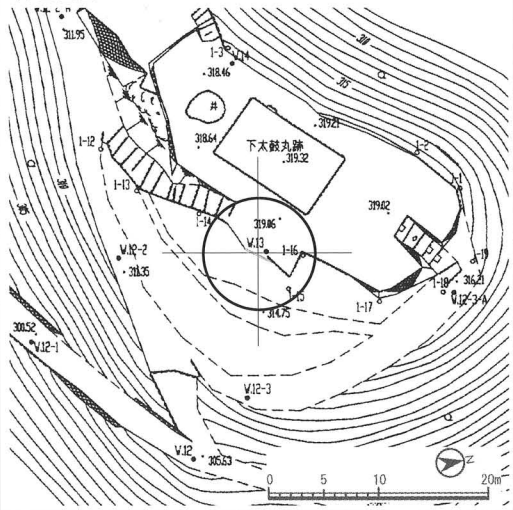


破損の要因と破損状況	略図
・施工法等構造上の問題などにより、ズレ、ヌケがみられる。	

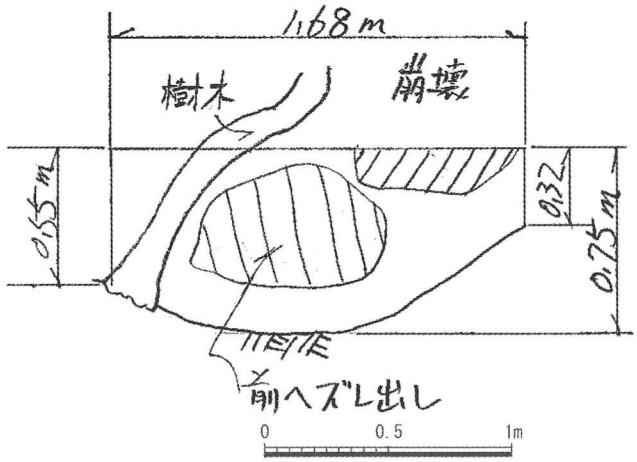


全景写真1

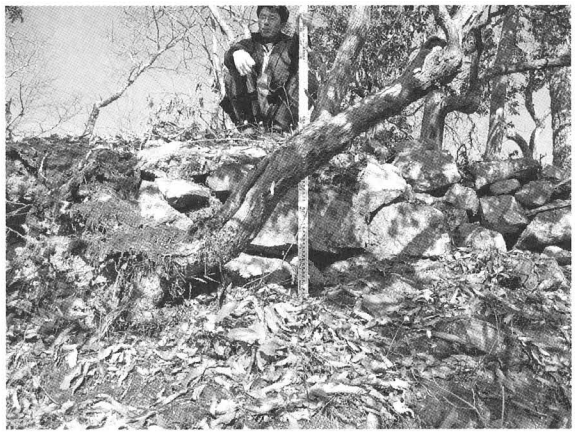
石垣番号	st_010	地区名	下太鼓の丸跡	曲輪名	
石垣部位	櫓台			石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）	
角の形状	右	入角？すり付け？			
	左	すり付け			
石垣延長	天端 1.68		下端 1.68		
石垣高さ	左 0.55		右 0.32		
	最高 0.75	最高点位置			
石垣勾配	左 0.00		右 0.00		
	最高地点 0.00				
地盤状況	土・岩・斜面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	ズレ・部分崩壊				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	B				
特記事項	左端全体が前へズレ出し。右は上部崩壊。				



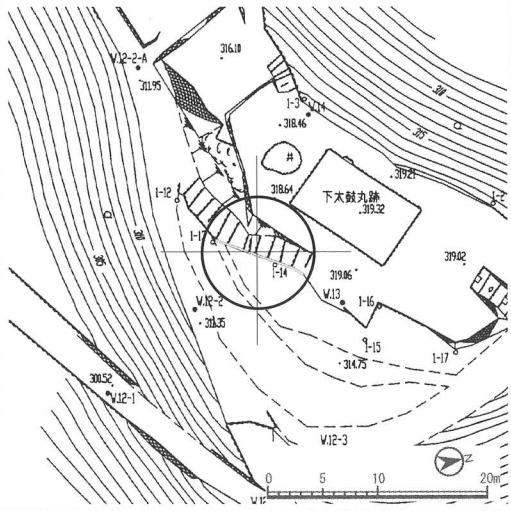
破損の要因と破損状況	略図
・施工法等構造上の問題などにより、ズレ、部分崩壊がみられる。	



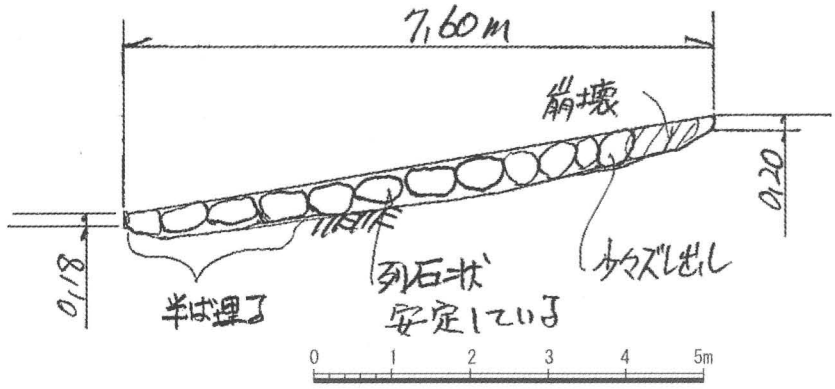
全景写真1



石垣番号	st_011	地区名	下太鼓の丸跡	曲輪名	
石垣部位	石段			石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）	
角の形状	右	すり付け			
	左	すり付け			
石垣延長	天端 7.60		下端 7.60		
石垣高さ	左 0.18		右 0.20		
	最高 0.50	最高点位置			
石垣勾配	左 0.00		右 0.00		
	最高地点 0.00				
地盤状況	土・岩				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	ズレ・部分崩壊				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	１～２石しかみえず、列石状で安定している。右端欠損。				



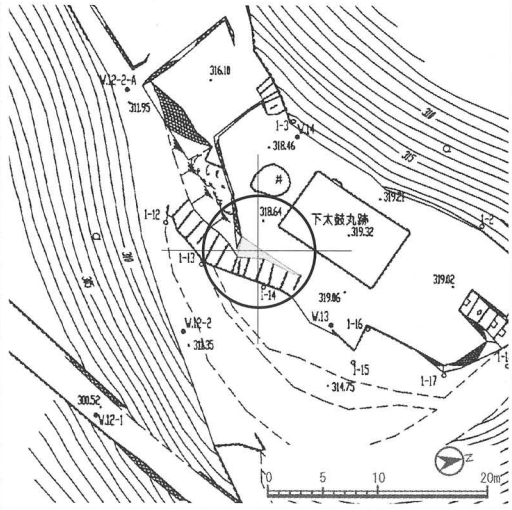
破損の要因と破損状況	略図
・施工法等構造上の問題などにより、ズレ、部分崩壊がみられる。	



左変曲点

石垣番号	st_012	地区名	下太鼓の丸跡	曲輪名	
石垣部位	櫓台				
角の形状	右	すり付け			
	左	出角			
石垣延長	天端 6.80		下端 6.80		
石垣高さ	左 2.00		右 0.20		
	最高 2.00	最高点位置			
石垣勾配	左 0.38		右 0.00		
	最高地点 0.38				
地盤状況	土・岩				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	ヌケ・部分崩壊				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	B				
特記事項	左角附近崩落欠損。右は数石ヌケるも良好。				

石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）

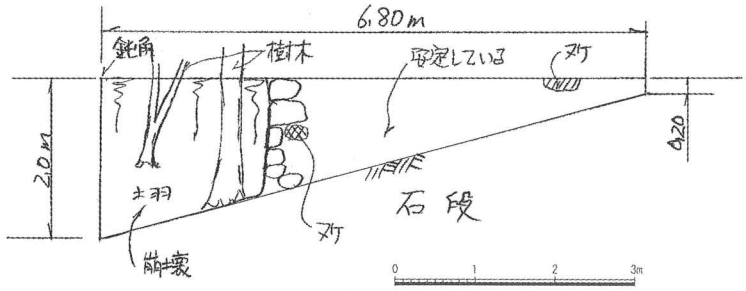


破損の要因と破損状況

・施工法等構造上の問題などにより、ヌケがみられる。

・石垣面の樹木の影響などにより、部分崩壊がみられる。

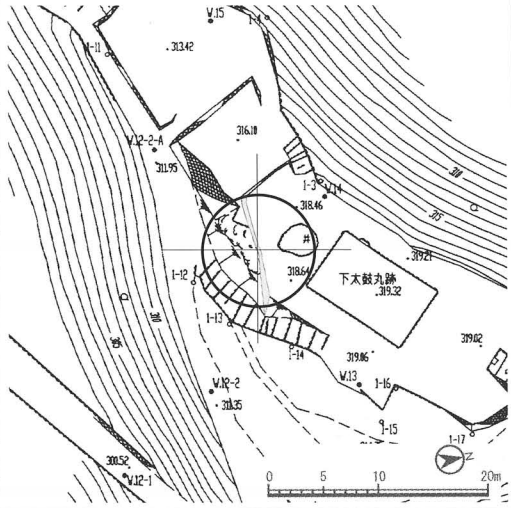
略図



左変曲点

右変曲点

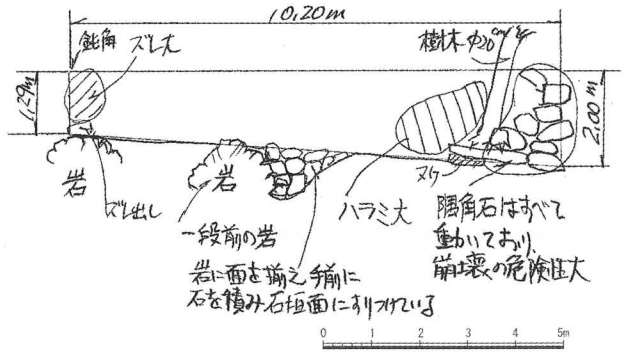
石垣番号	st_013	地区名	下太鼓の丸跡	曲輪名	
石垣部位	櫓台			石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）	
角の形状	右	出角			
	左	出角			
石垣延長	天端 10.20		下端 10.20		
石垣高さ	左 1.29		右 2.00		
	最高 2.00	最高点位置			
石垣勾配	左 0.28		右 0.38		
	最高地点 0.38				
地盤状況	土・岩・斜面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	ハラミ・ヌケ・ズレ・割レ				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	A				
特記事項	隅角鈍角。右は崩壊寸前。ハラミも大。左隅角も石が全体にゆるむ。				



破損の要因と破損状況

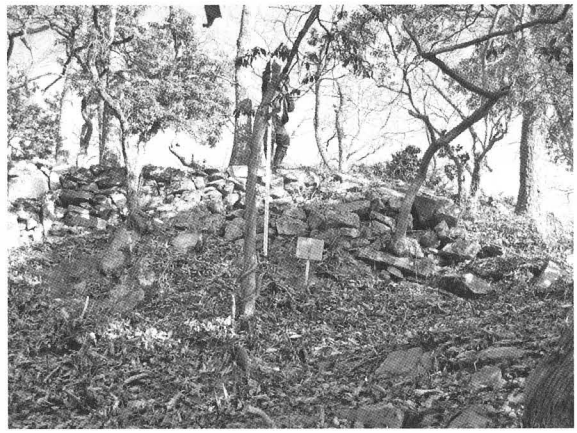
- 施工法等構造上の問題などにより、ズレがみられる。
- 石垣面の樹木の影響などにより、ヌケ、ハラミ、ワレがみられる。
- 岩盤と築石面の不整合などにより、ズレがみられる。

略図

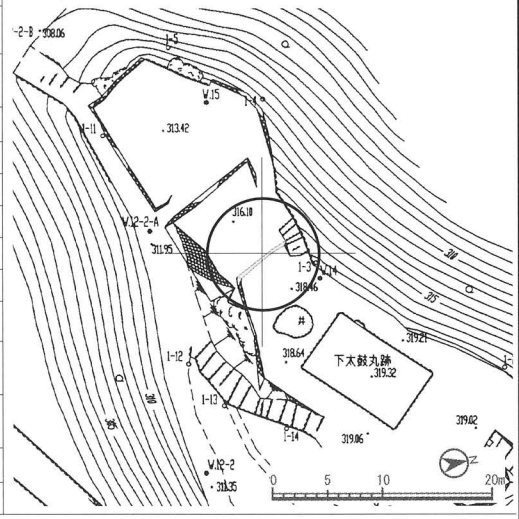


全景写真1

全景写真2



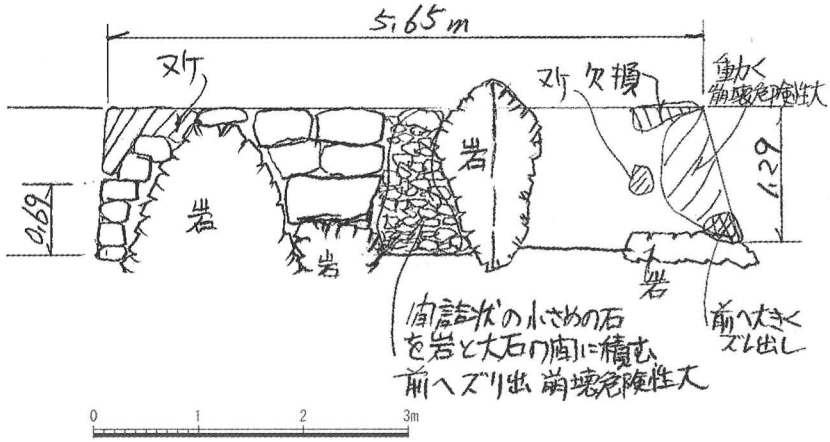
石垣番号	st_014	地区名	下太鼓の丸跡	曲輪名	
石垣部位	櫓台			石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）	
角の形状	右	出角			
	左	出角			
石垣延長	天端 5.65		下端 6.10		
石垣高さ	左 0.69		右 1.29		
	最高 1.40	最高点位置			
石垣勾配	左 0.00		右 0.28		
	最高地点 0.25				
地盤状況	土・岩・平坦面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	ズレ・部分崩壊・ヌケ・欠落				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	A				
特記事項	自然の岩を取り込んで積む。岩の部分は飛び出ている。右端、中央崩壊危険性あり。露岩上の築造。				



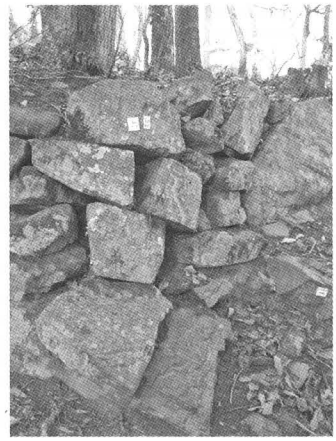
破損の要因と破損状況

- 施工法等構造上の問題などにより、ヌケ、カケがみられる。
- 岩盤と築石面の不整合などにより、ズレ、ヌケがみられる。
- 露岩と築石面の不整合などにより、ズレがみられる。

略図

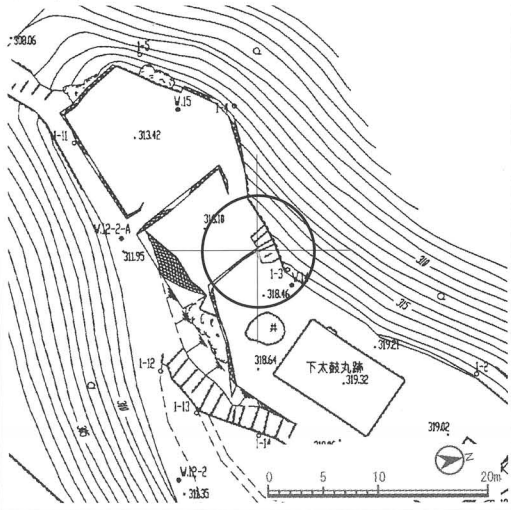


全景写真1

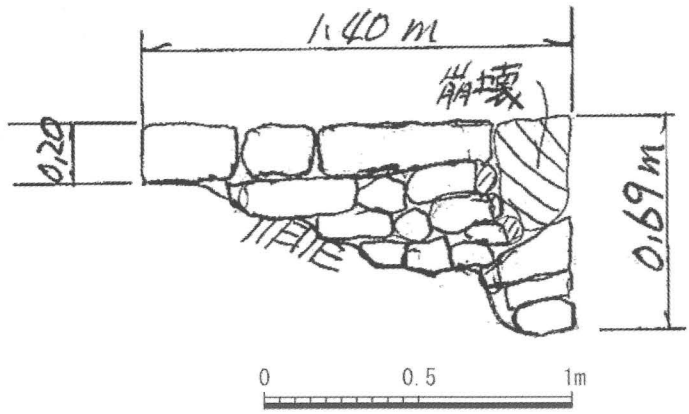


石垣番号	st_015	地区名	下太鼓の丸跡	曲輪名	
石垣部位	櫓台				
角の形状	右	出角			
	左	すり付け			
石垣延長	天端 1.40		下端 1.40		
石垣高さ	左 0.20		右 0.69		
	最高 0.69	最高点位置			
石垣勾配	左 0.00		右 0.00		
	最高地点 0.00				
地盤状況	土・斜面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	部分崩壊				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	B				
特記事項	右角上半崩壊。				

石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）

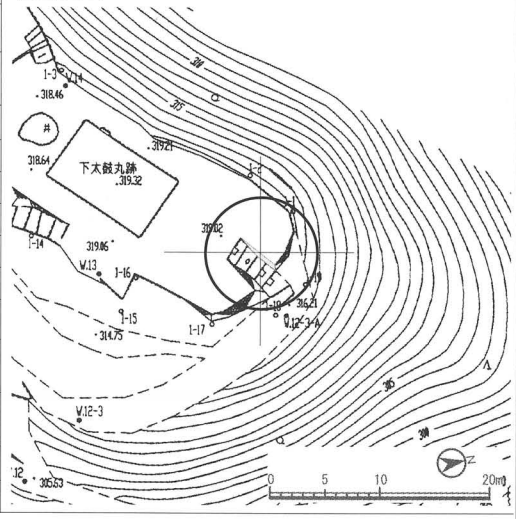


破損の要因と破損状況	略図
・施工法等構造上の問題などにより、部分崩壊がみられる。	

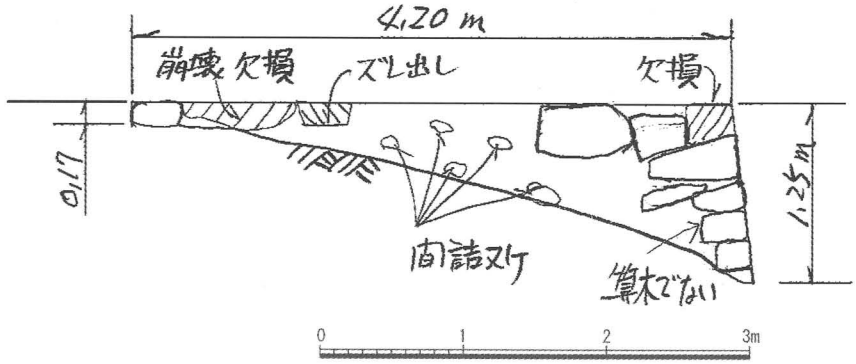


全景写真 1

石垣番号	st_016	地区名	下太鼓の丸跡	曲輪名	
石垣部位	櫓台			石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）	
角の形状	右	出角			
	左	すり付け			
石垣延長	天端 4.20		下端 4.35		
石垣高さ	左 0.17		右 1.25		
	最高 1.25	最高点位置			
石垣勾配	左 0.00		右 0.12		
	最高地点 0.12				
地盤状況	土・斜面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	ヌケ・ズレ・部分崩壊・欠落				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	間詰所々ヌケ。右角欠損及び左崩壊欠損。比較的安定している。				



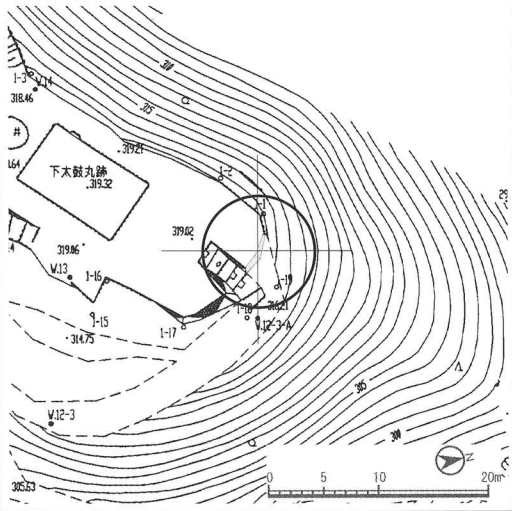
破損の要因と破損状況	略図
・施工法等構造上の問題などにより、ズレ、部分崩壊、カケがみられる。	



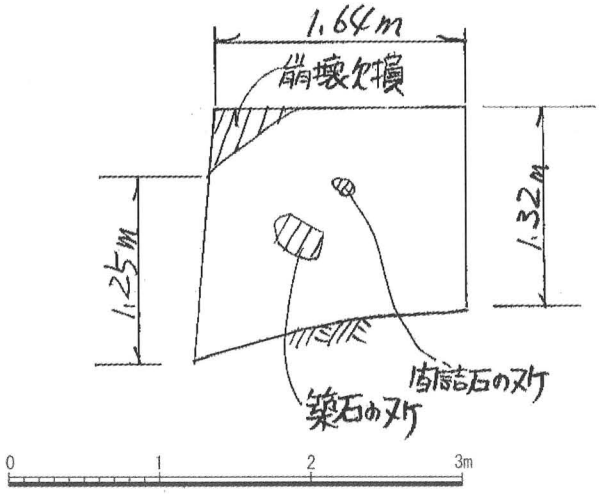
右変曲点

左変曲点

石垣番号	st_017	地区名	下太鼓の丸跡	曲輪名	
石垣部位	櫓台			石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）	
角の形状	右	出角			
	左	出角			
石垣延長	天端 1.64		下端 1.80		
石垣高さ	左 1.25		右 1.32		
	最高 1.32	最高点位置			
石垣勾配	左 0.12		右 0.12		
	最高地点 0.12				
地盤状況	土・平坦面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	ヌケ・部分崩壊				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	左上部欠損するが比較的安定している。間詰石のヌケあり。				

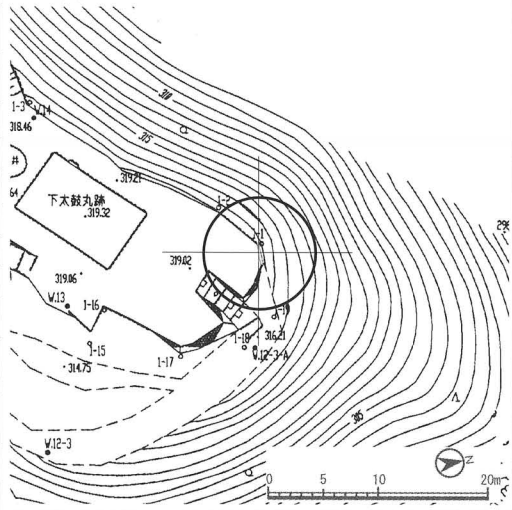


破損の要因と破損状況	略図
・施工法等構造上の問題などにより、ヌケ、部分崩壊がみられる。	

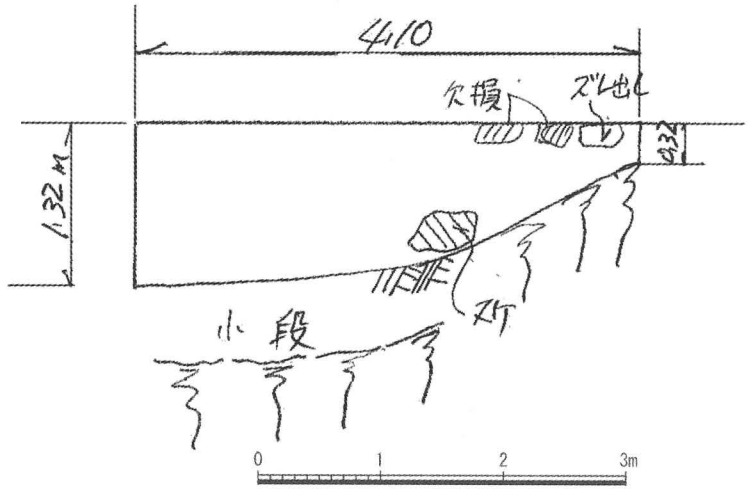


全景写真1

石垣番号	st_018	地区名	下太鼓の丸跡	曲輪名	
石垣部位	櫓台			石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）	
角の形状	右	出角			
	左	出角			
石垣延長	天端 4.10		下端 4.10		
石垣高さ	左 1.32		右 0.32		
	最高 1.32	最高点位置			
石垣勾配	左 0.12		右 0.00		
	最高地点 0.12				
地盤状況	土・斜面・平坦面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	ズレ・ヌケ・欠落				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	間詰石のヌケあり。他は安定。				



破損の要因と破損状況	略図
・施工法等構造上の問題などにより、ズレ、ヌケ、カケがみられる。	

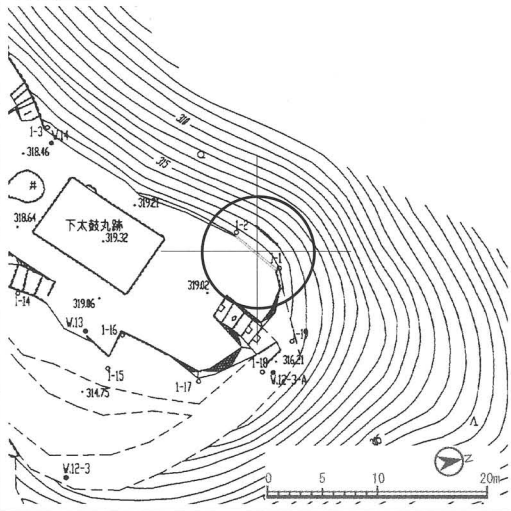


右変曲点

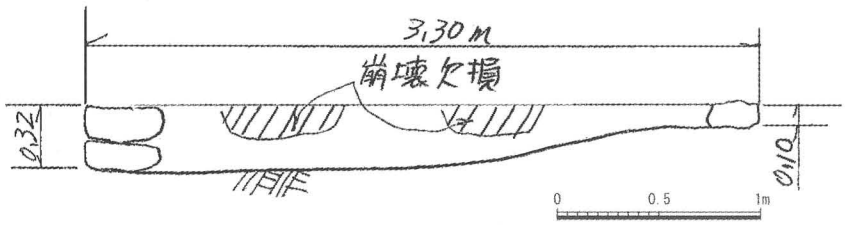
左変曲点

石垣番号	st_019	地区名	下太鼓の丸跡	曲輪名	
石垣部位	櫓台				
角の形状	右	出角			
	左	出角			
石垣延長	天端 3.30		下端 3.30		
石垣高さ	左 0.32		右 0.10		
	最高 0.32	最高点位置			
石垣勾配	左 0.00		右 0.00		
	最高地点 0.00				
地盤状況	土・斜面・平坦面				
石材種別	割石				
石積工法	(不明)				
石垣現状	部分崩壊				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	列石状１～２石のみみえる。上部崩壊欠損部あるが特に問題ナシ。				

石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）



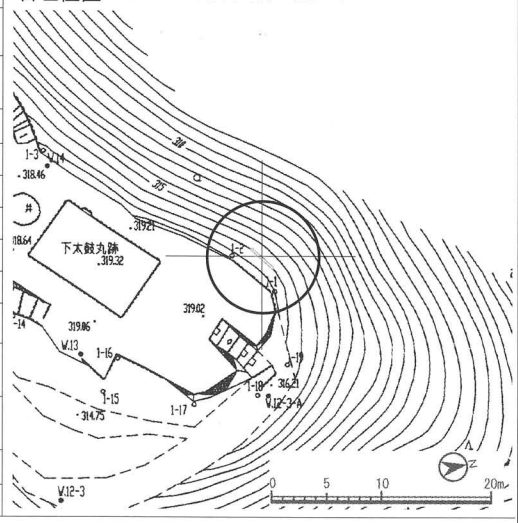
破損の要因と破損状況	略図
・施工法等構造上の問題などにより、部分崩壊がみられる。	



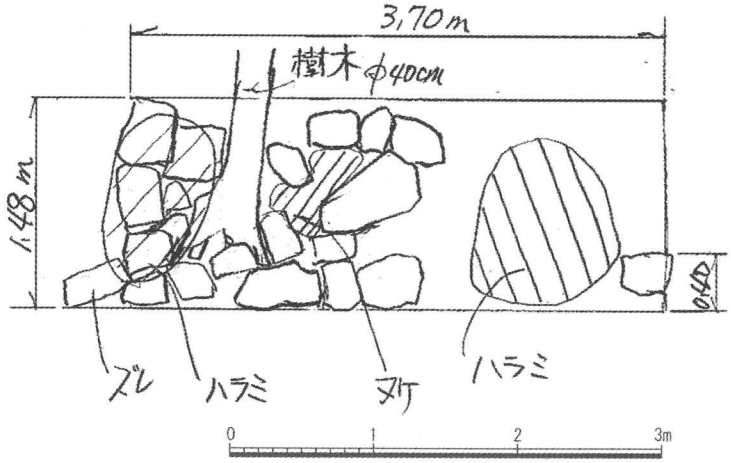
右変曲点

左変曲点

石垣番号	st_020	地区名	下太鼓の丸跡	曲輪名	
石垣部位	土留			石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）	
角の形状	右	すり付け			
	左	すり付け			
石垣延長	天端 3.70		下端 4.20		
石垣高さ	左 1.48		右 0.40		
	最高 1.48	最高点位置			
石垣勾配	左 0.20		右 0.00		
	最高地点 0.20				
地盤状況	土・岩・斜面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	ハラミ・ヌケ・ズレ				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	B				
特記事項	急斜面上にあり地盤のユルミでズレ出しがみられる。木の根で動いているものもあり。				

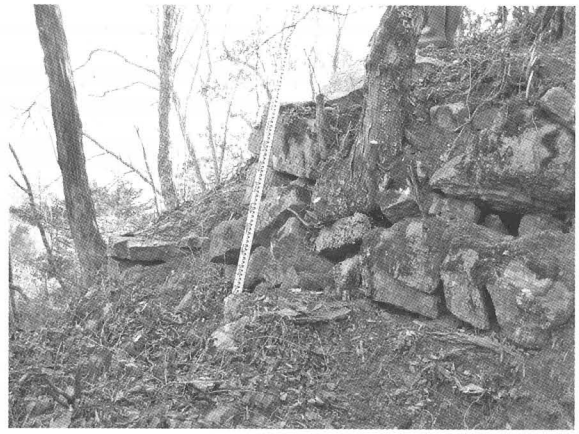


破損の要因と破損状況	略図
・施工法等構造上の問題などにより、ズレ、ハラミがみられる。 ・石垣面の樹木の影響などにより、ヌケ、ハラミがみられる。	

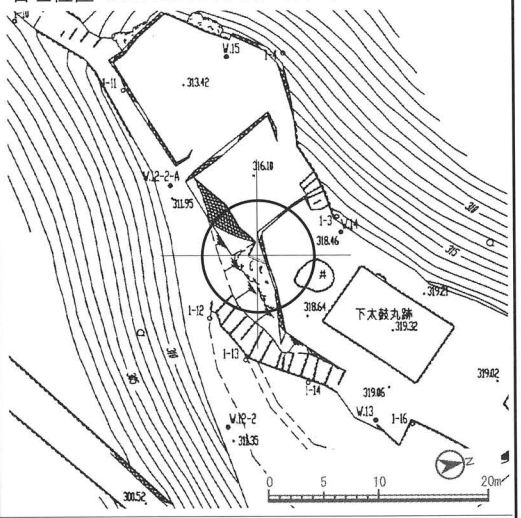


右変曲点

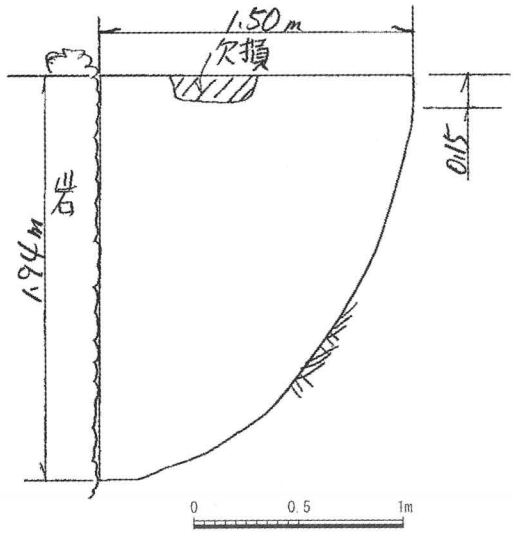
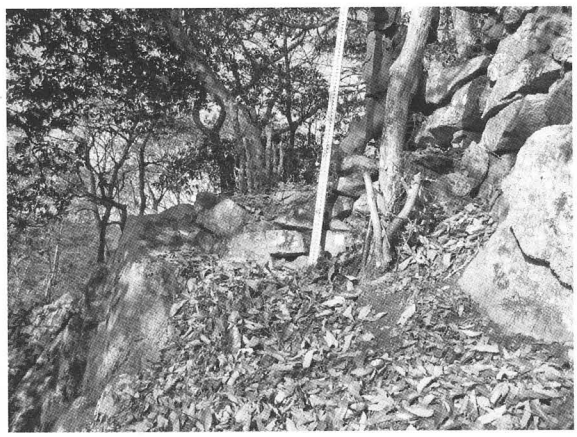
左変曲点



石垣番号	st_021	地区名	下太鼓の丸跡	曲輪名	
石垣部位	櫓台・土留			石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）	
角の形状	右	すり付け			
	左	すり付け			
石垣延長	天端 1.50		下端 1.50		
石垣高さ	左 1.94		右 0.15		
	最高 1.94	最高点位置			
石垣勾配	左 0.15		右 0.00		
	最高地点 0.15				
地盤状況	土・岩・斜面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	欠落				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	石垣と岩の間に土留状に積む。特に問題なし。				



破損の要因と破損状況	略図
・施工法等構造上の問題などにより、カケがみられる。	



全景写真1